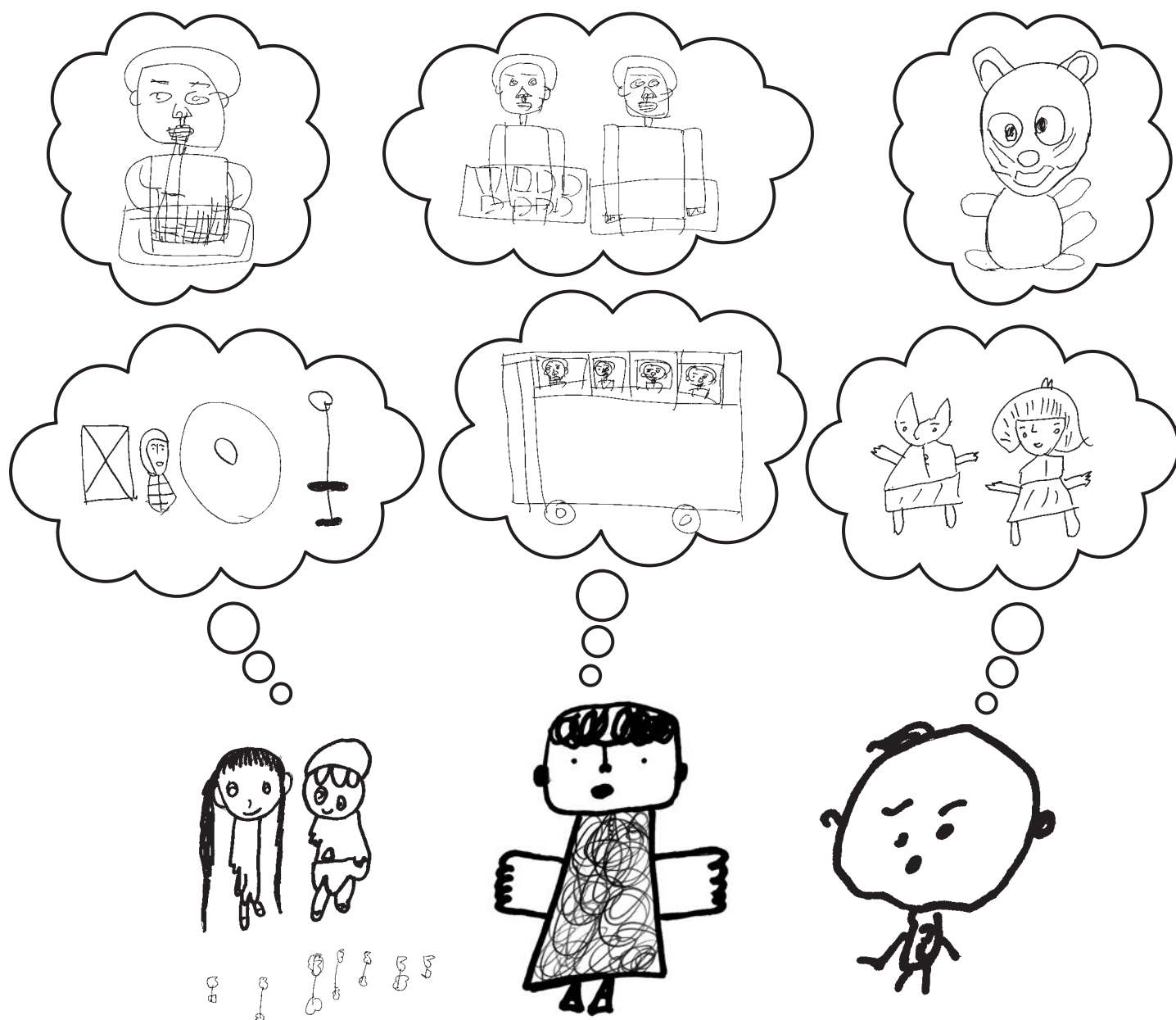


# 私の事はあたりまえに自分で決めたい。 手伝ってね！！ Ver. 4

「障がい者福祉施設・事業所における

障がいある利用者への意思決定支援実例集」



(イラスト：はまぎく荘 利用者)

(2019年) 平成31年1月

福島県知的障害者福祉協会

人権・倫理委員会

# も く じ

あいさつ	
福島県知的障害者福祉協会 会長 古川 敬	P 1
はじめに	
人権・倫理委員会委員長 古川 彰彦	P 2
実例調査の概要	P 3
実施された「障がいある利用者への意思決定支援実例」用紙	P 4
【意思決定支援実例の結果】	
カテゴリー分け要素説明	P 5
I 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例	A
① 居住系	P 9
② 日中活動系	P 27
③ 就労系	P 39
④ 児童系	P 44
II 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例	B
① 居住系	P 55
② 日中活動系	P 67
③ 就労系	P 77
④ 児童系	P 81
カテゴリー分類図	
成功実例カテゴリー分類図	P 88
失敗実例カテゴリー分類図	P 90
4年間のカテゴリー分類比較図	P 92
人権・倫理委員による編集後記	P 93

## あ い さ つ

意思決定支援が公の言葉として、その認知の取り組みが具体化された一昨年を振り返ると、3月には厚生労働省から「意思決定支援ガイドライン」が発出され、同年7月には（公財）日本知的障害者福祉協会（以下、福祉協会）より「現場で活かせる意思決定支援ガイドブック」が刊行された。

国のガイドラインは、その趣旨や目的の概略を説明すれば「障害福祉サービスにおける意思決定支援の指針を示したもので、対象者は自ら意思決定が困難な障害者」であり、人権擁護や障害者支援の専門理念との関係性には触れることがなく、決定場面の手順や方法を説いたものと解釈できる。

一方で福祉協会のガイドブックは、「決定場面での支援を前提として、日常的な意思形成の支援や本人の意思表出の際の支援が重要であり、パートナーリズムからの脱却やエンパワメント支援といった専門理念を基本とし、人権擁護に直結した生活のあらゆる場面での支援」としている点が、大きな違いであり、その意味から福祉協会が考える意思決定支援の定義は次の通りである。（意思決定支援ガイドブック P52）

『意思決定支援とは、障害者本人の意思が形成されるために、理解できる形での情報提供と経験や体験の機会の提供による「意思形成支援」、及び言葉のみならず様々な形で表出される意思を汲み取る「意思表出支援」を前提に、生活のあらゆる場面で本人の意思が最大限に反映された選択を支援することにより、保護の客体から権利の主体へと生き方の転換を図るための支援である。』

「本人ニーズに沿った支援」「本人中心支援」「心に働きかける支援」「寄り添う支援」「本人の思いを汲み取る支援」など、知的障害者支援とは何かと問われた際に、様々な表現を持って本質的な支援を説明しようと試みたが、端的かつ明確に言葉で表現するには至らなかった長い時代を経て、意思決定支援が法文化され、国のガイドラインや福祉協会のガイドブックにより、私たちの長年に亘る知的障害者支援が「意思決定支援」という言葉により明文化されたと言える。

当協会が取り組みを開始して4年目を迎える本事例集は、支援現場における意思決定支援を組織で支える先駆的な取り組みであることは言うに及ばず、制止・抑制を基本とした「消極的人権擁護」である「虐待防止」から、行動・促進を基本とした「積極的人権擁護」である「意思決定支援」への転換を促す要素が詰まった冊子の刊行であり、全国に誇れる取り組みである。

知的障害のある方々への本来の支援は意思決定支援がベースにあってこそ成り立ち、その点こそが他の障害分野の支援とは大きく異なるとの認識とともに、いつの日か「虐待」や「虐待防止」といったネガティブな言葉が支援現場から消え去り、「意思決定支援」や「人権擁護」の取り組みとといったポジティブな言葉が支援現場で当たり前に関わされる日が来ることを願ってやまない。

福島県知的障害者福祉協会  
会 長 古川 敬

## はじめに

「意思決定支援実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～Ver. 4」が今年も発刊されました。福島県内の施設・事業所職員の皆様から意思決定支援実例が今回は 218 件のご提出がなされ、Ver. 1 から延べ 700 件を超えるインシデントデータが集まりました。ご協力に感謝申し上げます。

この意思決定支援の実例集の冊子作りには、大きく目的が5点あります。第1には、その支援職員が実際に行ったAさんへの支援が「本人の意思を尊重した支援だったか、そうでなかったか」を自己分析し、省みて明文化すること。第2に、その明文化された実例支援を職員会議等のチームで成功・失敗の検討がなされ、客観的意見を出し合い、Aさんに対する「意思決定支援」を具体的に協議できる。第3に、この冊子が県内加盟協会の全職員に配布されることで、他施設の「意思決定支援の成功・失敗の実践」から学ぶことができる。第4に、意思決定支援を日常的に施設・事業所で意識することで、人権が護られた支援が行われ、虐待を未然に防止できる。第5に、支援に対し「びくびく萎縮型」から「生き生きエンパワメント型」へと明るく、笑顔で、活気ある施設・事業所に変化する契機になることです。

本誌に蓄積された4年間のカテゴリー分類比較図データから、徐々に解ってきたことは、意思決定支援の成功事例では「①意思決定を周囲で尊重できる環境がある②本人の意思決定表出を受けて、実現③選択肢としての情報提供」の3要素の割合が高い傾向になり、反対に「家族や職員、周囲の人の都合が優先された」はありませんでした。一方で、失敗事例では「①家族や職員、周囲の都合が優先された②本人の意思決定表出を受けて、実現していない③意思決定を周囲で尊重できる環境がない」の3要素の割合が高い傾向が見て取れました。成功事例からは「推奨」を、失敗事例からは「反省と教訓」を学びたいものです。

平成30年12月26日に厚生労働省より「平成29年度都道府県・市町村における障害者虐待事例への対応状況等（調査結果）」が公表されました。障害者虐待判断件数は2,618件あり、その内訳は養護者59.5%、福祉施設従事者17.7%、使用者22.8%でした。虐待を受けた全被虐待者3,544人（前年比10%増）の内54.3%が知的障害者（福祉施設従事者のみでは71.0%）でした。福祉施設従事者による虐待が認められた事業所種別では、障害者支援施設25.0%、共同生活援助18.8%、放課後デイ12.3%、生活介護11.6%でした。上記のように、福祉施設従事者等による障害者虐待では知的障害者が71%と最も多く、虐待者の職種は、生活支援員が44%管理者が10%でした。結果を重く受け止めなければなりません。

私達が日常的に意思決定支援を行うことは、障害ある方々の人権を護ることにつながり、その結果として「虐待を防ぐこと」になります。今後「障害者への意思決定支援」が実践されることで、将来は虐待を未然に防ぐことに辿り着くのではないのでしょうか。

日々の「意思決定支援」の中に、私達の真価が問われています。

福島県知的障害者福祉協会  
人権・倫理委員会  
委員長 古川 彰彦

## 調査の概要

### 目的

県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子をこの度、4年目の発行をすることができました。この実例集は、県内に留まらず各都道府県や厚労省及び関係機関からも参考にしたいとのご要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。各施設の日常的な支援の実践や実例の中に、「意思決定支援」の様々な要素（カテゴリー）が凝縮されている事が、3年間の実例集で分析され、可視化されました。

そこで、昨年に引き続き人権・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、その類似性や特徴及び共通点を分析した実例集を作成することになりました。各事業所の職員一人ひとりが、日頃の支援を振り返り、実例の作成や実例をスタッフ間で協議することにより、今まで気づかなかった「発見」や、「改善策（統一的支援等）」が見出され、それにより、日常的に意思決定支援の実践が成されるかと思えます。この一連のプロセスこそが虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会になることを期待します。

### 1 調査対象

福島県知的障害者福祉協会加盟事業所におけるサービス管理責任者 等

### 2 調査方法

福島県知的障害者福祉協会 事務局よりメールにて依頼

### 3 依頼期間

平成30年8月31日（金）～9月28日（金）

### 4 依頼件数

107事業所（昨年度 104事業所）

### 5 回答件数

63事業所（昨年度 57事業所）	成功実例	120件（昨年比 + 11件）
	失敗実例	98件（昨年比 - 12件）
	合計	218件（昨年比 - 1件）

### 6 回答率

58.8%（H29年度54% H28年度58% H27年度37%）

### 6 調査項目

- 1 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例
- 2 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例

平成 30 年 8 月 31 日

福島県知的障害者福祉協会  
会員・準会員 各位

福島県知的障害者福祉協会  
会長 古川 敬  
( 公印省略 )  
人権・倫理委員会  
委員長 古川 彰彦

## 福島県内の全会員事業所における 「障がいある利用者への意思決定支援実例集」作成について（依頼）

晩夏の候、会員の皆様はますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成 29 年 3 月 31 日に厚生労働省より「意思決定支援ガイドライン」が出されました。また、同年 7 月には日本知的障害者福祉協会から「意思決定支援ガイドブック」が発刊され、各事業所内で意思決定支援について活発な話し合いが成されているかと思えます。

福島県人権・倫理委員会は「福島県内の障害者施設利用者への虐待を未然に防止し、人権が擁護された支援の周知と拡充及び安心して支援できる事業所体制の向上を図ること」を目的とし発足して、7 年目となりました。平成 30 年 4 月現在、当協会会員 107 カ所中、84 ヶ所に人権擁護委員会等が設置されています。今後は、各事業所で設置された人権擁護委員会等が職員誰もが話しやすく、討議しやすい環境にあるか、委員会の中身や質が問われます。各施設職員が障がいある利用者の方に対して、どんな時も「人権が護られた支援」を正々堂々と明るく、笑顔で出来るようにしたいものです。

さて、標記の件でございますが、平成 27 年度から県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子を発行させて頂いております。この実例集は、県内に留まらず各都道府県や厚労省及び関係機関からも参考にしたいとのご要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。各施設の日常的な支援の実践や実例の中に、「意思決定支援」の様々な要素（カテゴリー）が凝縮されている事が、3 年間の実例集で分析され、可視化されました。

そこで、昨年に引き続き人権・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、その類似性や特徴及び共通点を分析した実例集を作成することになりました。各事業所での職員一人ひとりが日頃取り組んでいる実際の意思決定支援を意識的に振り返り、実例の作成や実例をスタッフ間で協議することにより、今まで気づけなかった「発見」や、「改善策（統一的支援等）」が見出され、それにより、日常的に意思決定支援の実践が成されるかと思えます。この一連のプロセスこそが虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会になることを期待します。

尚、「意思決定支援実例」の報告用紙にご記入頂き、メールにて 9 月 28 日までにご送信下さい。事務局にて集計し、委員会でも検討の上参考までに「委員会考慮ポイントカテゴリー」を加えて、実例集をまとめ、平成 30 年 1 月の「虐待防止責任者・管理者等研修会」にてご報告する予定です。ご協力、宜しくお願い致します。

(お問い合わせ先) 福島県人権・倫理委員会 事務局 おおぞらの夢内 担当 松原  
TEL 024-557-2804 mail : oozora@muse.ocn.ne.jp

## 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素(以下カテゴリー)が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の220件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.3」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。(繰り返し、根気よく)
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

## 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.3」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表示支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他



## 意思決定支援実例の結果

### ① 本人の意思決定支援が出来た成功実例

- ・ 居住系 . . . . . P 9
- ・ 日中活動系 . . . . . P 27
- ・ 就労系 . . . . . P 39
- ・ 児童系 . . . . . P 44

### ② 本人の意思決定支援が困難だった失敗実例

- ・ 居住系 . . . . . P 55
- ・ 日中活動系 . . . . . P 67
- ・ 就労系 . . . . . P 77
- ・ 児童系 . . . . . P 81

### ③ 平成30年度 カテゴリー分類図

- ・ 成功実例 . . . . . P 88
- ・ 失敗実例 . . . . . P 90

### ④ 4年間のカテゴリー比較図 . . . P 93

# 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素(以下カテゴリー)が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の220件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.3」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。(繰り返し、根気よく)
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 A 障害者支援施設・GH等（居住系）

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-1. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ③ ⑤ ⑥

「買い物に行きたい。」という利用者との日常会話から、外出を計画。事前に出掛ける利用者と「何を買いたいのか。昼食は何を食べたいか。」等の外出の計画書を作成。外出当日は銀行でお金を下ろし、メモを元買い物を行った。実際に商品を目の前にし、手に取ることで、本当に欲しかった物を購入する事が出来た。昼食もメニューを目の前にし食べたい物を選ぶことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・買い物したいという思いを実現し満足が得られた。
- ・金額の範囲内で本当に必要な物を購入した。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ③ ⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-2. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ③ ⑤ ⑥

入所して2年、入所前はグループホームで生活・作業所での経験のある方で、病気後在宅生活を経て入所となった。入所後も自分の経験を活かして、洗濯や洗い物等を率先して行い「他にやることないですか。」と本人から問われることも多く、本人の能力を活かせる事はないかと検討し、地域の他事業所を見学・体験を経て現在週3回B型の作業所に通っている。行く日を楽しみにしており、本人の日常の意欲にも繋がっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の施設生活を充実する事が出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ⑤ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

A-3. **委員会考慮ポイントカテゴリ** ⑤ ⑥ ⑧

Sさん（女性）は、加齢に伴う身体機能の低下で歩行器や車イスを使用するようになり、活動意欲が低下し入浴を拒否するようになってきた。そこで以前より検討されてきた機械入浴設備を整備し本人へ入浴方法など詳しく説明したところ、入浴の拒否が無くなり、逆に楽しみにされる様になってきた。入浴の際の衣類を準備するなど、活動に意欲もでてきました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・施設全体が高齢化しており、ハード面を整えることができた。
- ・入浴の際の職員の負担が減り、より細かい支援につなげることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ** ③ ⑥ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-4. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑤ ⑥ ⑧**

施設内に、清涼飲料水の自動販売機を設置し3年が経過、最近では利用者の自治会で自分たちが飲みたい物、自動販売機に入れてもらいたい物などの希望が出されるようになってきた。そこで、新たに温冷ウォーターを設置し種類を増やすと、利用者の日々の生活に意欲が見られるようになり、自治会からも「いろいろ選べて楽しい」との評価も得られました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・利用者の意見を取り入れ、意思決定に幅を持たせることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-5. 委員会考慮ポイントカテゴリ ① ⑥ ⑧**

行動に落ち着きなく他害が多く、また取り組むことがないと他害に繋がりがやすい方に対して、スケジュールを提示したことで落ち着いて過ごすことができるようになった。余暇においては選択カードを準備すると選択できるようになり、活動の幅が広がった。また、構造化された場面で適切に活動に取り組むことができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・特性や本人自身を知るようにアセスメントを取った。
- ・アセスメントは取りつづけてその都度評価していった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ①**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-6. 委員会考慮ポイントカテゴリ ① ⑥ ⑧**

毎日のお風呂掃除でポイントがたまりカフェに出掛ける際に、お店と写真とその店にある物を写真で情報提供した。そうすることで本当に自分が行きたい所へ行くことができ満足した様子だった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけでなく、実際の物（写真）を見ることで選択しやすかったと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリ**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-7. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑥ ⑦ ⑤**

おやつが大好きなAさん。購入するとすぐに全て食べてしまうことを繰り返していた。健康について意識してもらうこと、少しずつ食べることを長く楽しめることと等を繰り返し話し、支援者と相談しつつ進めてきた。今は支援者と相談して量を決めたり、時にはたくさん食べて「失敗した」と反省する等、自分で考えておやつを購入し、食べることができるようになっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・失敗しても叱責しなかったこと
- ・ゆっくり取り組んだこと

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-8. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑧ ①**

グループホーム入居者で旅行の計画を話し合った際に、当初は全く意見が出てこなかった。意見の求め方が間違っているのではと考え、旅行雑誌を用意し、行きたいところに印をつけてほしいと話す。数日後、雑誌を確認すると印がついていることや、雑誌を指差してここに行きたいなどと希望を聞く事ができた。その後、旅行のイメージができたのか、旅行準備の役割などを笑顔で行う姿が見られた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・雑誌の写真などで分かりやすく提示したことで、イメージを持つことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-9. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑥ ③**

買物支援の際、購入するおやつを事前に決めてもらう時や、月に一度の選択メニューを決める際、メニューを読み上げただけでは、そのものがどんな物か想像できない方が多いのでメニューの写真をつけたり、ネットでおやつ画像を見せて決定してもらった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真やネット画像を見せた事で、どんな物かを認識した上で利用者さんが選ぶことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-10. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ③**

情緒不安定な日が多く、頻繁に大声を出したり、物損等が見られた為、本人及びご家族と話し合いを実施。帰省中は塗り絵やパズルは長時間できていたとの情報を得、本人も塗り絵がしたいとの事だったので買物支援で、本人に好きな塗り絵を購入してもらい、日中の作業時に塗り絵をする事をした。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人及び家族と話し合いをもった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-11. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦ ③**

担当のAさんと外出に出掛ける事となった。Aさんは人前で自分の意思を伝える事が苦手な方であったため、個室で外出についての話し合いをした。時間は掛かるものの、食べたい物や欲しい物を言葉に出して答えることが出来た。外出当日、Aさんの希望通りの食べたい物や欲しかった物を購入すると普段見せることのない笑顔を見せていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさんの特性を考慮して静かな個室で話し合いをした。
- ・言葉を発するのに時間が掛かるが、焦らずにAさんのペースに合わせる事で意思を聞き出す事が出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-12. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥**

要望や訴えがある際には職員の周辺を行き来したり、棟内を何度も往復したりと行動に落ち着きがなくなる。自分から思いを伝えるのが不得意な為、職員から声を掛け話を伺うことでようやく口を開き思いを伝える事ができる。自分の思いが通じると笑顔で答え、通じない時には表情が曇るため、表情を見て察することができた。主に外出したいとの要望であり、外出日までは何度も職員のもとに確認に来ており楽しみにしている様子があり、外出を終えるとその後は落ち着いて過ごす事が出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・要望に沿った支援をすることで、情緒の安定につながった
- ・言葉だけでなく表情等からも思いを汲み取り支援することが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-13. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ③**

姉に対しての想いが強いAさん。特に、帰宅が出来るかを確認したく、頻繁に姉宅に電話をしたがる様子が見られ始める。訴える回数が多い為、電話してもつながらなかったり、姉も対応が困難になったりしてAさんのイライラばかりが募り、情緒不安定な様子が見られるようになってしまった。そのため、姉に来園してもらい、Aさん、姉、職員で話し合いの場を設けて互いに無理のない範囲での対応を協議した。双方で話し合いをした結果、毎月第一日曜日に姉の方からAさんに必ず電話をかけるように約束をする。その後、Aさんは電話をかけることばかりを意識せず、自分の生活にゆとりを持てるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・月に1回、必ず電話がかかってくることの安心感を持てたことでAさんは落ち着いた生活を送れるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-14. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

Aさんは興奮すると、落ち着いて話が聞けず暴れ出す事が度々ある。先日も、何かが気になった様子で、興奮気味に普段は通る事のない廊下を歩き出した。Aさんの歩行は不安定でいつ転倒してもおかしくはない状態であるが、その日は歩行する事を否定せず、職員は優しい声掛けで見守りながらAさんの後を追った。しばらく歩き、窓の所でAさんは立ち止まり、外を見まわしていた。そこには花壇がありたくさんの花が咲いていた。「かわいいね～」とAさんがつぶやく。「花が見たかったのですか？」と職員が問うと、「そうだよ。」と笑顔で答えた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさんの行動を否定するのではなく、寄り添う。
- ・Aさんの気持ちを汲み取る。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-15. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

食事の際に御飯を残すことが多くなり、介助が必要になることもあった A さん。本人に聞いてみると、「熱い」と話された。配膳を直前に行うのではなく、他の方より早めに行い、少し冷ましてから提供することにより、御飯を残すこともなく、自分で最後まで食べることが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が食べやすいように工夫して提供したこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-16. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

A さんは集団で同時に移動するのが苦手で、移動するときに大声を出して、物をたたいてしまうことがあった。他の利用者や職員に説明し、移動の時は A さんに最初に声掛け・誘導をするようにした所、スムーズに移動できるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人への声掛け・誘導のタイミングを変更したこと。
- ・他の利用者に説明し、協力してもらうことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-17. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

A さんは以前別事業所のグループホームに入所していたが精神的な不安定、他利用者とのトラブル（他傷）あり退所し当施設に入所となる。普段は穏やかだが、落ち着かなくなると職員や他利用者への他傷行為が見られるようになり、医療機関との連携を図りながら対応を進める。それでも特定者への他害はエスカレートしていった。そのような中当法人が本人のふるさとしてグループホーム開所し、体験利用すると本人「地元で生活したい」との強い要望がある。体験利用中も数名への他害があったが「他害は不安や不満の表れ、じっくり聴いて対応」という姿勢で取り組んだところ、三か月でグループホーム移行が達成できた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・グループホームでは不穏時の対応職員を固定し、本人に「聞いてもらえる」と言う環境作りを行なった。
- ・主治医にその都度、状況報告し、アドバイスを頂き職員間で共有した

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-18. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

40代自閉症 男性Kさん。買物や外出の希望が多く、それが重なると物壊し、自傷行為あり。本人の訴えがあった時はまず要望を確認し、希望の購入品を全てメモ書きし残しておく。次に本人のカレンダーを準備し、スケジュールを検討し、サビ管に勤務調整を依頼の上、決まった日程をカレンダーに書き込み買物、外出を行う。カレンダーの利用によって本人なりに当日までの流れを理解し、落ち着いて生活できている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人にとってわかりやすい形でスケジュールを提示できた。
- ・どんなに要望が多くてもまず傾聴することで、実行への一歩につながっている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-19. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑦**

発語がなく、肢体も不自由なため身振りや仕草で意思表示をするAさん。テイルームで過ごしていたAさんが、自分の部屋を指さして「ん、ん」と言っていた。どうしたのかと思い職員が近づくと、職員の手を自分の車椅子にやり動かしてほしいという意思表示が見られた。居室まで向かうと今度はクローゼットを指さし「ん、ん」と何かを訴えていた。クローゼットを開けると上着を指さしこちらを見ていたため「上着を着るんですか?」と確認すると、表情をほころばせ「ん」と言ってお着を羽織った。自分の意思を伝える事ができたという経験を経て、その後は活動の際に車椅子を押してほしいという意思表示や歩行の練習をしたいという意思表示を見せる事が多くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人からの訴えにすぐに気付いて行動できた。
- ・伝えようとしている事を一つ一つ確認して意思の汲み取りを行った。
- ・最後は本人の要望に沿う事ができて、お互いが「よかった」という感情を共有できた。
- ・その場限りの意思表出支援ではなく、その後の生活にも派生して行動を引き出すきっかけになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-20. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑧ ⑥**

余暇に音楽を楽しみたい利用者Kさんに好みのCDを選んでもらう際、1<sup>ハ</sup>-<sup>ズ</sup>に1枚のCDが収納できるファイルを使用していたが、何度も1<sup>ハ</sup>-<sup>ズ</sup>をめくることを繰り返してしまい、選ぶのに時間がかかり、好みのCDを見つけられないことがあった。そのため、CDの収納方法を変え、台紙を上げると全てのCDが見える形にファイルを変えた。YさんはCDが見やすくなり短時間で好みのものを選ぶことができるようになった。また、好みのものを間違いなく見つけ出すことができるようになったため、何度もCDの交換を要求することが無くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人にとって理解しやすい提示となり、決定しやすくなった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑧**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-21. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑤**

Aさんは自分の要求を口頭で伝える事ができるが、話がまとまらず思いをうまく伝えられないために興奮したり乱暴な行為に繋がってしまう事が多かった。また、要求される内容も携帯電話が欲しい、iPadが欲しいなど高額な物が多く、すぐには購入できないことを伝えられると他害行為や破壊行為に発展してしまう事もあった。職員に対しては援助の過程でOJTを実施すると共に、会議時にはスーパービジョンの手法も取り入れながらAさんへの気づきの視点や援助方法の見直しなどを行った。同時に、Aさんに対しては口頭で伝えてくる要求がそのまま本人の意思であるかどうかを確認するため、携帯電話の契約やiPadの使用方法などについて、タブレットで動画を見てもらいながら説明し、実際に外出しながら店頭で実物に触れる機会を設けることとした。また、事業所の電話で希望する先に電話をかけたり、DVD鑑賞会の中にはAさんに機械を操作してもらおう場を作っていく中で、徐々に要求の内容に高額な物が欲しいという話は聞かれなくなり、「電車に乗ってみたい」、「本屋に行って雑誌を買いたい」という意思表示が増えていった。現在は外出の日程を手帳とカレンダーに書き留めて、「次は〇〇しようね」、「駅に着いたら特急いるかな」と外出を楽しみにする日々が続いている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- 言葉に出ている事がそのまま本人の意思表出とは限らないという事をOJTしながら周知した。
- 説得的コミュニケーションの多用をやめ、本人に「できる」という経験を積んでもらう機会を増やした。
- ベストインタレストに近づけるよう、本人の思いを大切にしながら様々な経験、体験の場を設け自分の考えで行動できるための環境を整えた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-22. 委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ② ①**

加齢とともに易疲労感から、外出（特に移動）を億劫がっている利用者Hさん。車で店に着いても、「買ってきて。」と職員に依頼傾向が強く、車から降りたがらなくなる。おやつ休憩の際も、車中で待っているから買ってきてと店内での飲食も拒むようになる。ただ、食べたくないわけではなく、面倒に感じている様子が伺えたので、面倒を取り去る安心材料を提供してみた。飲食店選びの際に、「駐車場からすぐに入り口あり」・「入り口まで手すりの付いたスロープあり」・「入り口側のテーブルが空席」・「入り口に美味しそうな写真付きメニュー表あり」等を提示して体験してみた。入店から注文まで、主体的に参加することができ、次回も行きたいとの希望があがる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- おやつがいらぬということではなく、歩いて行くのが嫌ということをくみ取った。・歩く手間も少なく店内で自分で選べることを、車内から視覚的にも訴えて伝えた。
- 一度経験できたことで、自信にもつながった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-23. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ③**

団体行動が苦手な施設行事への参加率も低いAさん

本人と会話する機会を多く持つように努める。担当の話しかけも拒絶する状況だったが、少しずつ居室への入室も拒まなくなり、数年が経過し世間話もできるようになる。世間話の中で自分の生家近くの食堂の話題が出た機会を捉え、本人の希望の引き出し、外出の計画を立てる。外出したいボランティアさんを指名した為、日程調整して実施する。その後も本人から目的地、内容の希望を聞きながら外出している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・時間をかけて本人との信頼関係をつくる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-24. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

利用者Kさんは意思疎通の難しい女性の方で、紐への拘りが強くあり、常に好みの紐を手を持っていないと落ち着かず、紐が紛失したり、気に入らなくなると激しい興奮に至ってしまう特性をもっている。

平成30年1月頃より夜になると紐への執着が強くなり、新しい紐の提供を受けても納得せず、一晩中興奮し一睡もしない日が頻繁にみられた。不眠によるふらつき、以前までみられなかった尿失禁がみられ始める。同時期に日常生活全般において、若年性認知症の疑いとの診断を受けた。寮会議で利用者Kさんの対応について話し合い、24時間シートを用いて本人の行動パターンを把握することとなった。結果、紐の提供の仕方において、職員の対応の不統一さが分かった。また、失禁しやすい時間や、失禁により不穩に繋がっている傾向があることが分かった。その後、職員間で紐の提供の仕方の統一、失禁による不快感を軽減するために早めのトイレへの誘導を行った。そのような取り組みを継続したところ、夜に紐の要求することや失禁することは殆どなくなり、情緒面、睡眠状態も安定してきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・認知面の低下を原因と思い込んでいたが、24時間シートを用いた事で、不眠に繋がった原因を理解することができた。
- ・行動の変化の中にある原因やKさんの訴えを具体的な方法（24時間シート）を用いて意向を汲み取ることの重要性について再認識した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-25. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ③**

行動援護を利用しているAさん。活動時に行きたい場所や食べたいものを言葉で伝えることができず、自分のやりたい活動を満足に行えていなかった。その為、写真入りのチョイスカードを作り、行動援護のサービス時にカードを提示することでAさん自身が行き先や食べたいものを選択し、活動を行えるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が解りやすいツールを作成した点が良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-26. 委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑦ ⑥**

今までの外出は外食と日用品を購入する事が主になっていたKさん。複数人での外出のため、日用品の購入をすると時間もかかってしまい、必要な物を買って終了となってしまう外出になっていたことが多かった。そのため、外食と「余暇に使うもの、本人が欲しいもの」を購入する外出内容に変更したところ、職員と事前に話し合って買いたいものを決め、店内でもいろんな商品をみながらご本人が自分の気に入った物をゆっくり選んで購入することが出来、本人も喜んでいた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・外出で買うものを「日用品」から「余暇に使うもの」と変更したことで、より本人が満足できる欲しいもの

事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑦

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-27. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑧**

利用者Bさんは知的障がい、聴覚障がいがあり筆談やジェスチャーでのやりとりが主であった。職員の中には手話でコミュニケーションを取る事もあるが、一部の職員にとどまっている。施設での日常生活においてはある程度のコミュニケーションは図れたが、Bさんの細かな思いまではなかなか読み取れない事もあった。

Bさんはこだわりが強く、平成30年8月頃から15時のおやつを食べたがらない事が多くみられ、提供しようとしてもお菓子を手で持とうとせず口にくわえて食べる事を繰り返していた。おやつのお菓子は業者からお客様の人数分同じものを購入しており、そのようなBさんの行動からおやつの中身自体が好みではないのではないかと推測した。そこで筆談にておやつについてどのようにしたいのか尋ね、数種類のお菓子や飲み物を提示したところ飲み物を指差した。その数日後、Bさんと一緒に近くのスーパーへ飲み物を買いに行き、数種類の中から好きな飲み物を選び購入し、おやつ時に提供することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・聴覚障がいをお持ちのBさんの思いをご本人の行動から読み取り、確認した。
- ・選択肢を用意してBさんの意思を確認し、お菓子ではなく飲み物がよいと分かった。
- ・Bさんの意思決定表出を受け、職員と一緒に買い物に行った。

事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑧ ③ ⑥ ①

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-28. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑥**

イベントに使う花チリ作りや折り紙などの作業を提供しても行わなかったMさんだったが、今まではやったことがないダンボールに切った折り紙を貼り付ける作業を少人数（3名ほど）で行ったところ、最後の完成まで行うことが出来ました。本人も積極的にやる気を出し、決められたエリアにきれいに貼れていました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・大勢の中ではなく、少人数で行った。自分のエリアを決めて行った。

事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-29. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

以前からグループホームに入所していたS利用者は、お盆や正月に母親が一人で住んでいる自宅へ帰省していた。しかし、母親が入院した事で帰省が出来なくなってしまった。近隣に住んでいる親類は叔母がいるが、帰省への協力は得ることが出来ない。自宅帰省できないことで周囲の人物に八つ当たりする様子が繰り返し見られた。S利用者と職員が話し合いをする中で、自宅帰省が出来ないことではなく、帰省時に必ず訪れていたレジャー施設に行けないことで不満が募っていることを聞き出すことができた。自宅からレジャー施設への往復の仕方は覚えているが、グループホームからの行き方がわからず、今まで通りに遊びに行くことができない。行く方法として、本人に移動支援の利用を提案し、実際に活用することで、S利用者の不満を解消し、日常生活も落ち着いて過ごすことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人と職員が話し合うことで、利用者の本当にやりたいことを聞き出せた。
- ・利用できる社会資源を本人に提案できた点が良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-30. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥**

他害の多い利用者の強みを見ようとし、まず何故他害に至ってしまうのかを考えました。口より先に手が出てしまう様子に見えました。全ての行動には必ず理由があり、他利用者が間違っただけの行動をしている時に、職員より先に、または代わって注意するかの様に他害になってしまっている事に気付きました。そこで、他害をしようとする場面を見つけた時に「AさんはBさんのことを注意してくれようとしたのよね。ありがとう。」と伝えてみると、Aさんは顔さ、振り上げた手を下ろしてくれました。その結果、他害には至りませんでした。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・何故他害をするのか、行動・性格から根底を見ようとしたこと。
- ・他害をする行為にばかり、目を向けなかったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-31. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ⑧ ①**

偏食あり白米を摂取できず、数年にわたり麺類など提供しているAさん。  
数年かけてチャーハンやお茶漬け等も食べられるようになってきた。写真等で見える化し、種類を選んでいる。白米のおにぎりの形を【丸、三角、俵型】示すと三角おにぎりを選び、白米を摂取することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・無理な摂取を促さず、ラーメン、そば、うどん、パスタ、フォー等の提供を行い、お互いの信頼関係を築くことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-32. 委員会考慮ポイントカテゴリー ①**

利用者 Aさんは、予定が気になると全職員に質問することを繰り返す。  
先の見通しがわからないことから不安になり質問を繰り返していると判断。  
情報を視覚化できるカレンダーに予定を記入することで質問の回数が減ってきている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・情報を視覚化したことで予定がわかり安定してきた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ①**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-33. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑧**

Bさんのラミネートコレクションが増えすぎしまうので、一緒に片づけを行いました。200枚以上ありましたが、一枚ずつ「今、いりますか？」、「家に持って帰りますか？」と問いかけ、必要な物を分類し整理する事ができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・一人では片づけられないので、一緒に行ったこと。
- ・本人にとっては、宝物なので一枚ずつ丁寧に扱い、声掛けをして自分で分類できるようにサポートしました。

**事業所判断ポイントカテゴリー ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-34. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑧ ⑥**

Kさんは、ファミリーレストランで入店した際、メニュー表の写真を見て、食べたい物を指さして、選んで食べる事ができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・メニュー表が写真であるお店を探し、入店したこと。
- ・事前にどんなものが食べたいか、どんな場所で食事したいか、本人と一緒に話をする時間を設け、情報提供しました。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-35. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ④**

施設内で訪問販売を実施した際、事前に「何か欲しい物がありますか？」とAさんに確認したところ、反応がなく本人の意思が分からなかった。そのため当日に担当と一緒に参加し、一つ一つ商品を手に取って説明し提示すると、自ら選択し買い物カゴの中に入れ購入することができた。笑顔も見られ、翌月も参加し訪問販売を楽しみに待つ姿が見られるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・直接商品を掲示し、分かりやすく伝えることができた。
- ・本人の意思で欲しい物を選択し、支援者も本人の意思を汲みとることができた

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑤ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-36. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑧ ⑦**

20代女性利用者が自動車免許を取りたいと希望した。どこの自動車教習所にしていいのかわからないと相談があった。以前から自分の気持ちを伝えることが苦手で途中で投げ出してしまうことも何度かあった。本人への情報提供を口頭だけではなくパンフレットやノートにもわかりやすく書き、説明を何度もすることで自分の行きたい自動車教習所を選択し、通い、卒業することまで出来た。また、説明の際には、障がい者に対する配慮が厚い自動車教習所があることも情報提供として行った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・口頭だけではなく、パンフレットやノートを使用して説明したこと。
- ・自動車教習所へ本人の了承を得て、情報提供をしたことですごく配慮をしていただいたことでスムーズに卒業することが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-37. 委員会考慮ポイントカテゴリー ②**

Iさんは入浴の際に、脱衣することが難しい。「洗濯に出しましょう」との声掛けでは納得いただけず、「他の人に見つからないように、隠しておきましょう」との声掛けやジェスチャーでスムーズに脱衣し、入浴、衣類を洗濯することができた。他の方に衣類を盗られてしまうと思ひ込みがある様子であった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・目的が1つであっても思考や視点により、言葉かけは1つではなく、Iさんの反応を見てIさんの真意を推測しながら言葉掛け等働きかけを変えることで入浴もスムーズに行えるようになり、衣類を洗濯に出すことが出来ている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

居住系

**A-38. 委員会考慮ポイントカテゴリ ④ ⑧**

日中活動時、ラックを使い画材や教材を載せ準備することで選択できる方は日中活動の課題を自分で選択して取り組んでいる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・職員が提供したものに取り組むことが必然となっていたが、ラックを購入し一度に複数を提示することで視覚で確認してもらい、選択しやすく言葉で表現出来ない方にとっても選択の幅も広がった。数種類の画材を見やすく提示することで、自分の好みの活動や、その時の行いたい活動内容を自己選択し、取り組めるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ④ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

居住系

**A-39. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥**

施設の引越に伴い、入浴日が週3回から毎日に変更となる。Aさんは拘りが強く週3回、午後15時に入浴していたため、引越してからの毎日の入浴も納得ができませんでした。Aさんは入浴がとても大好きです。Aさんに要望を伺うと、「他利用者さんと入るのが嫌、今まで通りの時間に入りたい」とのことでした。毎日の入浴を他利用者さんが入った後、今まで通りの15時に入浴を実施したところ、毎日喜んで入浴することができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人の意思を尊重し対応することで、本人も楽しい入浴時間を過ごすことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

居住系

**A-40. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑤**

Iさんは衣類の洗濯を行っているが、毎回洗剤の分量で困っていた。洗剤を、ジェルボールにすることを提案し使用することになった。洗濯物干しについても、同室者が拘り、乾かないうちに外されてしまうことがあり乾燥機の使用について提案し使用することとなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・毎回洗剤の分量で悩むことがなくなった。洗濯・乾燥・収納と一連の流れを自分のペースで取り組み、衛生的にもなると喜んでいた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ③ ④ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-41. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

ケーキの日になかなか席に着けず食堂入口に立っていた女性利用者Aさんを職員が誘導すると、渋々席に着く様子がありケーキを食べ始めています。しばらくして本人の後ろを通りかかった職員の手を引き何かを訴える様子があり、指さしする為本人へ「どうぞ」と声を掛けると自分でケーキを持ち、空いている席へ移動し笑顔でケーキを食べ始めています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の行動（入口に立っていた）は座りたい席があったことの意味表示
- ・職員に対して席を指さしし、移動したり又は移動してよいか？の意味表示

事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-42. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑧**

本人の意思決定支援として希望を選択する際に必要な情報提供の意味で普段から広告・雑誌・テレビを自由に見ることが出来るようにして本人が興味のあることは何か聞き取り、より知りたい内容についてはインターネット等も利用し写真・映像なども提供しよりイメージしやすいようにしました。また個別の活動の体験を通して本人が感じたこととして、自身が希望することを行うためには体力を維持しなければならないという思いが芽生え、歩行など体を動かす活動を好まない本人から体を動かす活動の要望が聞かれるようになりました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が望んでいるポイントが何かを把握できた事で満足感につなげることができた。
- ・本人が意思決定するために本人に合った選択方法を支援できたことが満足感に繋がり体験から二次的な要望に繋がった。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-43. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

当事業所では、食事の際に介助が必要な方や時間の掛かる方には他利用者より30分早く食事を提供しているが、Aさんは食べるのも早く、介助も必要がないため対象ではなかった。Aさんは自閉的傾向のある方で、食堂に早く入りたいという思いがあるようで、職員に待つよう言われると不安定になり興奮や破壊行為がみられることがあった。対応する職員によってはAさんが不安定になることを避けるために早く食堂に入れることもあったが、職員によって食堂に入れたり待たされたりと、対応が一定していなかった。ある時、興奮した様子で本人から「早く食堂に入りたいです」とのはっきりとした要望があったため、その場にいる職員間で協議して、早く食堂に入るメンバーにAさんを加えることにした。それからは食堂に入れるという安心感からか、食事の時の興奮は見られなくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人からの要望に対し、職員間で話し合い、統一した対応ができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-44. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑦ ⑧**

日頃から自分で毎日着る衣類を準備できるが「旅行には何を着て行ったらいいだろう」「準備してくれるのですか?」と心配しているようだったので、一緒に選ぶことにした。本人が着たい服と気温に合うものが違ったりしたため、助言しながらいろいろな組み合わせを見てもらい、その中から自分で着たい服を選んで頂いた。時間は掛かったが自分の気に入った洋服を1着選ぶことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・心配している気持ちを察し一緒に選んだ。
- ・実際に来た時のイメージができるよう組み合わせを作り見てもらった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-45. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

Mさんは日常的に放尿・排便を繰り返していた。排泄支援時、便座に座り排便をする練習を重ねることで排便したい時にはトイレですることを学習し、日中定時排泄支援時間以外にも自身でトイレに行き、排便できるようになった。それに伴い拘り行為であった居室内の特定位置での放尿も無くなり居室内の衛生面環境が良くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・大便器に座り排泄の練習を繰り返すことで、排泄の適切な場所を学習し本人の困りごと感が解消できた。
- ・繰り返し行う事で、トイレで排泄するに変化した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-46. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ⑧**

衣類等の買い物は、本人の希望や趣味等を考慮し職員が代行していたが、施設で衣料販売の業者を呼び施設のホールに販売店のフロアーを再現するような形で販売をして頂く様にした。これを年に2～3回行う事で、実際に手に取り色や柄が自身に合うか、試着しサイズの確認をしたり買い物を楽しむ、欲しい物を選ぶ事が出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・外部から販売業者に入ってもらう事で、実際に手で触れ、自身に合うか見て、サイズについては試着し購入できる。職員の見立てで購入した衣料品ではなく、自身が選んで購入が出来る。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧ ⑥ ⑤**

**A-47. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑥ ⑦**

Aさんは30代女性。児童入所施設卒園後の行き先として20歳で成人施設へ入所。Aさんは中学生の時から家庭内において意思が通らないと大声で暴言を言ったり、物を壊したり、家族へ暴力を振るうため家族と暮らせなくなってしまった。そのため、「大人になって我慢できるようになること」が目標とのことで入所した。

Aさんは、「自宅で家族と暮らしたい」という希望があり、「大人になって我慢できるようになる」を目標に1年間入所施設にいれば自宅へ帰れると思っていた。しかし、「大人になる」ということがどんなことであるか理解はできておらず、毎日作業や活動を行う・約束を守って生活するということが難しく、嫌だと外に飛び出す、我慢ができません「私ばかり」と被害的に訴えて自傷・他害を行うということが続いたため、自宅へ帰る希望は叶わず、更に荒れた。

職員はAさんの思いを受けとめ、得意なことやできることを一緒に探してスケジュールを立てて過ごす、すぐ終わり完成がわかるできる役割をして評価される経験をする、周りの利用者と一緒に約束を守って生活するを大人の生活として伝え、統一支援と環境を整えてサポートした。

また、自分の気持のコントロールができず衝動的に暴力をふるってしまうことについては、医師の指示を受けて入院したり服薬調整をする、医師と約束をして定期的に面談をする等も行った。

家族については、暴れることを避けるためにAさんの言いなりになることがあったり、医療入院についてはすぐに効果が見えないと否定的であったが、何度も話し合いを重ねてAさんの頑張りや成長を支えて待つことをお願いした。また、電話でのやり取りや帰省時にAさんのできるできないを曖昧にして混乱させてしまうことがあったため、家族がすることと施設がすること、Aさんが守る約束について都度話し合っ確認し、書いて説明を行い、チェック表も活用して互いに約束を守っていくことができるようサポートを行った。

6～7年たって日課は何とか行うことができるようになり、約束も徐々に守ることができるようになった頃、あるべき姿を求めて話し合っ取り組んできた職員から、気持を受けとめつつ自分で考えるを支援する職員へ担当変更があった。すると、職員を好きになり過ぎて執着し、やきもちをやいて自傷・他害が増え、注目行動から日課の拒否を行うようになった。そこで、目標の再確認を行い、「好きな人に嫌われないから頑張る」という気持を支えるため、好きな職員がいる時の周りの職員のサポート体制を整え、安定して約束を守って生活できるようにした。

更に、友人と関わっていくことで気持をきいてもらって慰めてもらう経験をしたり、一緒に自治会の役割を果たして自信を持ったり、楽しみなことを共感し合ったり、ケンカするたびに互いの気持を伝えあっ関わりの方を話し合い、関わりの約束を毎日確認することで仲良く生活するための方法を学ぶことも行った。

次に、上記の取り組みを積んでいく中で、思う通りにならないからと怒っても自傷・他害をすることが減ったため、保護者とトラブルになるお金の使い方の取り組みを行った。Aさんにとって必要な予算を決めて自分のお金を遣ってやりくりを行うことを職員と練習し、予算以外に家族のお金を遣うことはしないよう家族とも約束を行い、徐々に我慢ができるようになって帰省した時も約束を守って落ち着いて生活できることが増えた。また、お金を使いたいから仕事を頑張ったり、欲しいものを買う為に工賃を貯金するということもできるようになっていった。

昨年、入所当時からあるAさんの「自宅に帰りたい」という希望について保護者と話し、行政へも意向を伝えたところ、現在施設で行っている手厚い支援や環境を地域の中で整えることは難しいとの話があった。しかし、保護者より、Aさんの成長を見てきたことと、他の子供が自立した今ならAさんを近くで支えられると思うので近くのグループホームに入りたいとのお話があった。そこで、Aさんと近くのグループホームや通所事業所の見学や体験を行うこととなった。

先日体験を2回に分けて行ったが、グループホームの利用者とのやり取りがうまくいかずに怒って泣いてしまうことがあった。体験後に反省を聞いたところ、自分が相手の話を聞かなかったことややきもちをやいて怒ってしまったことが原因であったと自己分析し、次回は頑張って改善していきたいと話していた。

以前のAさんは、問題に突き当たると嫌だと言って逃げるか、相手のせいにして攻撃することが多かった。しかし、今まで時間をかけて取り組んだ結果、自分でできることをして立ち向かう力と自信を得、怒りたい気持ちを切り替えてコントロールする術を身につけ、人からアドバイスを聞いてやろうとする意欲と適応力を身につけることができた。また、施設における友人とのかかわりも、被害的で周りを攻撃する見方が多かったのが、時にはまわりの友達のいいところを誉め、困っている友人を手助けし、優しい言葉をかけて励ますこともできるようになってきた。優しくまじめなAさんの良さが引き出され、仲間とともに自分らしい生活が少しずつできるところにまで成長することができた。

「自宅で家族と暮らす」という希望を叶えるには、他者とやり取りを行う社会性が不足していたAさんであったが、Aさんと家族が抱える課題を専門家のアドバイスも受けながら根気強く支え、支援と環境を整えて取り組んできた結果、Aさんの希望に少しずつ近づきつつあることを実感している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- 意思の実現のために必要なことや課題について本人や家族と話し合い、専門家のアドバイスも受けながら統一支援をして取り組むことで成果が出た。
- 気持ちの成長に沿って取り組む課題を設定し直し、環境や支援を整えることができた。職員だけではなく、仲間とのやり取りの場を増やして社会性の獲得を促すことができた。
- Aさんの気持ちを受け止め、納得のいくまで体験や話し合いを繰り返して励ますことで、職員を信頼して取り組みを行い、わからないことは聞きながら解決できる自信が持てるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-48. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑧**

Yさんは、30代男性、自閉症で発語の無い方である。いつも作業活動へ出発する前に余暇活動で課題をしたり、職員と卓上ゲームをして過ごしている為、その日もいつも通り活動する部屋へ誘導しイスに座るよう促したところ、表情が険しくなり別のソファに座ってしまった。そこで、現物提示をして誘導しようとして余暇道具を持って行き提示したところ、余暇道具を自分で棚に戻してしまった。

いつもと様子が違うため、横になって寝る・課題をする・テレビを見るの3種を簡単に絵に描いたものをYさんの前に提示すると、「横になって寝る」を書いた紙を選んでとった。そこで、横になって寝て良いことをYさんに伝え、すぐにソファで横になり、作業活動へ出発するまで休んだ後次の活動へ参加することができた。

その後、夜勤者よりYさんが昨晚よく眠ることができなかったことを聞いた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- 発語がなく理由を説明することができないYさんの変化を読み取り、拒否の原因や訴えたいことを想像して対応できた。
- Yさんに伝わる方法で選択肢を提示し、意思を表出できる場面を作ることができた。
- 今までの経験から選択すれば自分の要望を聞き届けてもらえるということをYさんが理解して安心してやり取りをすることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-49. 委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑦ ⑧**

女子利用者Kさん。こちらから話しかけると会話は成立するが、自分から話すことはほとんどなく、何かを選ぶこともほとんどない。ティータイム時、お茶とコーヒーどっちがいいか聞くと、いつも「わかんない。」と答える事が多かったが、「こっちがお茶、こっちがコーヒー、どっちがいい？」と指差して尋ねたところ、指差して「こっち。」とコーヒーを選ぶことが出来た。最近は声に出して「コーヒー。」と言い選ぶことが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけではなく、指差しし物を提示することで、選択しやすくした。
- ・こちらが選んであげるのではなく、自分で選んでもらうということを重要視できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-50. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑧**

Iさんが食事を残そうとしていた。「食べないのですか？」と聞くと「いらない。」と答えていた。Iさんはトロミ食の方で、常食を見せ「この食べ物はこちらです。」と一通りお話ししてみると、「食べる。」と言い、食事を全量摂取することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Iさんの「いらない。」という言葉に鵜呑みにせず、どうして食べないのかを考える事が出来た。
- ・形状がことなる食事が何のメニューなのか常食を見せ説明したことで、本人が食べたい気持ちになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】 **A** **生活介護等（日中活動系）**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**日中活動系**

**A-51. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

掃除当番がもともと決まっていた、他にも掃除をしたいという利用者の方がいた。利用者全員に再度やりたい方を募って当番表を作成し、また職員も一名一緒に掃除をしながら把握をすることとした。麻痺があり、今までは掃除に参加したくても参加できなかった利用者の方も職員が少し手伝うことで、掃除が出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・掃除当番をやりたいが全員に確認し、やりたい方全員を入れた当番表を作成した。
- ・職員が入ることで麻痺がある方も安心して掃除が出来るようになっている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**日中活動系**

**A-52. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥ ⑦**

利用者Bさんは、個別活動で塗り絵を行っていましたが、友人たちと一緒にトランプにも参加したいとのことでした。塗り絵とトランプを2つ同時には出来ないことを伝えるも首を振られてしまいました。再度、「塗り絵が終わってからトランプに参加しましょう」と職員から提案をしています。Bさんは額き塗り絵を塗り終えてから友人たちと一緒にトランプに参加することができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・やりたいことが出来る様、本人の意思決定が出来るまで待つ。
- ・支援員が意見や提案することで選択肢を挙げ意思決定をしやすくする。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**日中活動系**

**A-53. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑧**

昼は職員の介助で食べるSさん。その日は、職員の介助に対し中々食べようとしなかった。職員が、お弁当の中身をSさんに見えるよう場所を変え「何を食べますか？」と選んでいただく。「もやし」等と食べたいものから選んだ。その後、残さず食べる事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・食べることを優先するのではなく、食べたいものを聴くことで上手くいった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧ ⑩**

**A-54. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑥**

Yさんは、18歳で重度の知的と自閉症を持つ男性です。Yさんとの出会いは、今年の2月ある支援学校の先生から「昨年の6月から支援学校に通えなくなった生徒がいます。4月の進路先も決まっています。とりあえず見学させて下さい。」と連絡があり「いつでも、見学なさせて下さい。」と伝えたことから始まった。

1週間後Yさん、両親、支援学校の先生、相談員が当事業所に来訪。その時、①ある方面（学校及び支援学校時利用していた事業所）は本人の拒否でドライブが出来なくなった。②集団で干渉されるのは苦手で個別化の支援が必要。③見学時、職員の誘いで（笑顔で「入りますか？」と言いながら手を引いただけ）事業所内に入ったことに先生と保護者は驚いていた。今後、支援学校の特別実習を行い、3月には日中一時支援を利用し、4月から生活介護サービスを使う事とする。

実習初日は、20分事業所内に入っただけで飛び出し、実習を断念。2日目は、30分お母さんに同席して頂き、その後合計2時間事業所で過ごすことが出来た。3日目は、職員のみで2時間過ごすことが出来た。その時初めて下駄箱に自分の上履きを入れたのを見てお母さんに「多分、当事業所に通えるようになりますよ。」と伝えた。特別実習は、2週間の予定で3月からに一中一時支援を使う予定だったが、行政から「日中一時支援の許可は1月かかります。」との事で、3月は受給者証が発行されず途方に暮れた。保護者、支援学校の先生と相談し「Yさんは、実習中休んでいないので、当事業所に楽しく通えると思います。（母の話では、4日目から自分でカバンに道具をそろえて準備していた）何とかならないでしょうか？」と伝えると、支援学校からの提案で3月中は特別実習で当事業所に通い、4月からは生活介護事業で、月曜日・水曜日・金曜日の週3日の利用となった。

生活介護事業を契約時母親と色々話をした。事業所から「①無理をして再度引きこもりにしたくないので、4月は3時間からの利用で、徐々に半年で9時から4時の利用にしたい。②Yさんの事を色々知りたいので、10数枚のアセスメントを書いて頂きたい。③学校では自傷行為がひどいと電話連絡があり返されたようですが、当事業所では多少の自傷行為では連絡しません。」と伝え、納得して頂いた。

支援方法はYさんと職員の意思疎通が図れるための視覚的支援と、簡単な構造化は行っています。例えば、Yさんは散歩が好きですが上手く伝えることが出来ません。いくつかのカードを使って提示しましたが、上手くいきませんでした。帰るとき2月だったのでジャンパーを着て外に出ることを思い出し、ジャンパーを渡すと外に出ることが出来、「ジャンパーが散歩の確認するカード」のかわりとなりました。現在も、同じジャンパーを見せると立ち上がって自ら外に出ます。嫌な時は、手ではねます。

他害行為とみられるものは2月から7月現在までで、2回ありましたが、他害行為とは捉えていません。なぜなら、2回ともYさんにとっては、予期せぬ出来事が起こり混乱したように思えたからです。2回とも、職員間で話し合い「〇〇だったから混乱したのでは」と考え、そのような場面を作らないようにしました。

現在は、9時から4時まで7時間過ごしています。今まで事業所を休んだ事は有りません。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- 本人は話せないで、表情で様子観察し、何かあれば対応を変えた。
- 家族に協力を得てアセスメントを大量にとり、支援に役立てることが出来た。その際、気になることや困っていることも正直に書いて頂いた。
- 段階を踏んで事業所に慣れてもらったので、無理せず休まず通えることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑤ ⑥ ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-55. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤**

自閉症 男性利用者Tさんは、歩行訓練を実施するのかどうか気にしており、本人の思いと違うと不安定さを見せ拒否する事があった。そのため、実施の有無を○△で分かりやすく知らせて、歩行訓練への体験を繰り返していく事で、本人の思いと違いがあっても、拒否することなくスムーズに参加出来る様になっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・○△を用いて、分かりやすく知らせる事が出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-56. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ⑧**

毎年クリスマス会の出し物で仲良しメンバーでダンスを披露しているOさん。だが、練習中は暗い様子だったため、話を聞く。「ダンス、楽しい？」と聞くとしばらく苦笑いしていた。ポツリポツリと話したことは「ステップは今年初めてで、そのステップを覚えられず、自分だけずれているのが変に見えちゃうと思って。ずっとダンスをしてきたため、今年はゲームにしようと思う。」と言う。職員から「楽しく出し物をするのが一番大事だから、みんなが楽しく踊れるように職員も手伝うからもう一度挑戦してはどうか？それで難しいと思ったらゲームにしましょう。」と提案すると「やってみます。」と言う。他のメンバーにも話を聞くと難しいと思っていたのはOさんだけではなく他のメンバーも一緒だった。今まで動画を見て本人たちで練習していたが、職員が教えられる、みんなも聞いたことのある曲を提案。その場で動画を見てもらいながら即興で踊ってもらおうと「これなら僕もできそうです。」と言って笑顔になる。ダンスグループの人たちには「こういう楽しいって気持ちが大切だよ。」と伝え、クリスマス会までに頑張ろうと伝えた。その後は職員が振付をしながら、一緒に踊ることでスムーズに練習が進んだ。本番はOさんも自信を持ってとても楽しくダンスを披露することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員が踊れることで、動画では分かりにくい部分も丁寧に教えることができ、Oさんのペースでダンスを習得できた。
- ・もう一度ダンスに挑戦してはどうかと言う提案をしながら、難しい場合はゲームという、ふたつの提示ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-57. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧**

20代女性。当事業所がB型事業所であった時に支援学校高等部を卒業して園を利用し始める。いずれ就職したいという漠然とした希望があり、事業所内でも箱折り作業や木工の研磨作業などを行い作業能力も高かった。利用者の高齢化に伴い4年前より事業所をB型事業所から生活介護に移行した。本人の「もっとお金が欲しい」という希望により、市内にあるB型事業所で実習し、少しずつ慣らしながら毎月1日ずつB型事業所への利用日数を増やし、いずれB型事業所に完全移行する予定で併用し始める。(3月に週2日利用から始め、毎月1日ずつ利用を増やし、6月には完全移行する予定だった。)緊張もあり胃腸炎を繰り返したため、本人と毎月振り返りを行いながら、無理なく少しずつ日数を増やしていった。当初の予定より遅れたが、7月より週4日B型事業所に行き、当事業所には週1日のみ利用を残す所まで進む。本人は「お金は欲しい」「でも長く通った園の利用者と別れるのは淋しい」という思いもあり、完全に移行するには踏ん切りがつかずにいた様子で、「もうしばらくは週1回園に来たい」と話していた。相談員より「友達と時々会いたいだろうから、土曜日に時々日中一時で園を利用することもできる」またB型事業所より「1年かけて焦らずに移行しましょう。長く園に通っていたので行事は楽しみだろうから、園の旅行や行事にはB型事業所の利用予定日であっても休んで、園の行事に参加しても良いと思う」という話が本人にあった。その後、本人とB型事業所への完全移行に向けての話をする。その際、3月から8月までどのように利用日数が変化したかを紙に書き、9月から来年3月までを空白にし本人に提示。本人より「園の行事は好きで、12月はクリスマス会、1月は新年会があるので、それには参加したい。1月が終わったら完全にB型事業所に移って、お仕事を頑張りたい。時々友達や職員とも話したいので、土曜日には日中一時で園に来たい」と移行時期を自分で決めることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人とB型事業所への完全移行に向けての話をする際、本人が理解しやすいように今までの経過を紙に書いて説明した。また今後の月を空白にすることで本人にどうしていきたいか考えてもらい、時間をかけて待つことで、本人の本当の気持ちを自分の口から聞くことができた。

・当初たてた移行への計画通りではなかったが、本人の気持ちを一番に考えながら、家族やB型事業所、相談員と連携を取ることで、最終的には自分でしっかり移行時期を決めることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-58. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ①**

言葉でコミュニケーションが取れるAさん。運動の時間に何がやりたいか聞くと「ボルダリングがやりたい」と話された。本人はボルダリングがどういったものか分からず、名前に興味を持ち「やりたい」と言った様子だった為、写真を使ったりスタッフが体で表現しボルダリングのイメージを伝えた。その際、難しいものである事も伝えた上で「それでもやってみたい」と希望された。当日、ボルダリングが出来る公園に出かけ体験して頂いた。登る事は難しく、手や片足をかけるのが精いっぱいだったが本人は「難しかったけどまた挑戦したい。ボルダリングがこういうものだ」とみんなに教えたい」と満足そうだった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・難しい事だと決めつけず、本人の「やりたい」という気持ちを大切にした。

・本人が分かりやすいツールを使用しながらしっかりと情報提供した上で本人の意思を確認した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ①**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-59. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

作業内容を決めてもらう際、普段決まった作業を選択するBさん（コイン入れ・ビーズ入れ）。ある日、作業を決めてもらう際、いつもの作業を選択すると思われていたが選択するときの仕草がゆっくりで、表情や目線を見ると他の利用者が取り組んでいる新しい作業を見つめていたため、その新しい作業を提供してみたところ集中し取られ、翌日よりいつもの作業に新しい作業が追加になった。本人も表情良く取り組まれている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・先入観の支援ではなく新しい作業を提供できた。（変化できた）
- ・Bさんの意思表出をキャッチする事が出来た。
- ・経験する事で翌日からの作業内容の意思決定に変化が生まれた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-60. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

登園後に活動着への着替えを終え活動室に戻るとズボンを下げる行為が頻繁にみられることがあった。初めはトイレに行きたいのかとトイレへの促しをしていたが、その後もズボンを下げる行為が繰り返されていた。ズボンを下げる事を繰り返す際、ズボンの裾を気にする様子が見られていた為、着替えるズボンを変える、ウエストのゴムがきつくないのか等考えられる事を試したが効果なし。着替えをせずにごして頂いたところ、ズボンを下げる行為がなくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ズボンを下げる行為の裏になんらかの原因があると考えることが出来た。
- ・着替えは嫌だという、本人の気持ちをつかむことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-61. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑧ ⑦**

日頃から「自分で選ぶ事」を意識しながら選択肢を準備し、あらゆる場面で選択の機会を設けてきたことで、車椅子を申請する事になった際、色や材質などカタログを自分で指さし選ぶことが出来た。何度か繰り返し尋ねても同じ色、材質を指さし、お気に入りの車椅子を作ることが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・カタログを準備したこと。
- ・選ぶ事を繰り返したことで自分の思いを伝える事に自信が持てたとと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-62. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ③ ①**

電化製品が好きなAさん（男性）、自分で操作することのこだわりから、操作が乱暴になり家庭での破壊行為につながっていた。本人と話し合い、一番好きな掃除機かけを毎週火曜日に職員と一緒にやる事で満足感を得られ乱暴な扱いが減少。掃除機かけの曜日変更もカレンダーに記入する事で受け入れられる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自分の役割として満足感、達成感を得られる。
- ・本人に分かり易い習慣になるようなルール作りをした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑥ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-63. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

自閉症 Aさん（男性）

朝の体操（腹筋）は、施設長と一緒にやる事が習慣になっていたが、出張で不在になると運動をやらないうちがある。本人と一緒にやりたい職員を3人決めることで、施設長が不在の時は2番目に一緒にやる職員、3番目に一緒にやる職員と、その日の状況に合わせ納得して相手を変更することが出来るようになり、毎日休まずに腹筋できるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・2番目、3番目の職員も本人が選んだ職員のため、納得できている。
- ・選択の幅を広げる事ができるようになると、様々な場面でも応用できる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-64. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑧**

旅行等の話し合いでは、本人が理解し易いように映像やパンフレットを使って行っている。乗り物においても、バス、自動車等写真や動画を見て貰うことで、疑似体験を通して乗りたい物を選び職員に伝えることができた。料理、メニューを写真や画像を見てもらう事で本人も選びやすく伝えやすかった様子。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・目で見て分かり易いように写真や画像で希望を伝えられる。
- ・画像や動画を利用して選択肢を分かり易く提示することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧ ① ③ ② ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-65. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑥ ⑦**

外食レクリエーションのとき、前もってインターネットやお店から借りたメニュー表で食べたいものを自分で決めていただいた。しかし、混ぜご飯が嫌いな方が、チャーハンとラーメンのセットにしたため、親御さんに確認すると、チャーシュー麺が好きなので、そちらにするかどうか本人に再度確認するとチャーシュー麺に決めることができた。当日チャーシュー麺を注文すると大盛りを完食されて喜んだ表情をしていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚を用いた情報提示を行い自己決定につなげた

事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ④ ⑥ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-66. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑥ ⑦**

カフェに行ってメニューを見て最初決めたものが自分の思っていたものと違ったものであったようで、一口も手を付けずに困っていた。再度、メニューを一緒に見たり、実際にほかの人が食べているものを見たりして、どれが食べたいのかよく話を聞き、表情や指差しを確認したりしながら本人が納得するものを選ぶことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・失敗してももう一度一緒に考え、本人の意思決定を待つことができたこと。

事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-67. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤**

Aさんは幼少期から祖父母に引き取られ養育されている。(両親は自分の子供に関心がない)言葉でのやりとりはできない。自分の意にそぐわないことがあると物を投げ、テーブル、椅子など倒し暴れる行動がある。祖父母は暴れないよう、好きなおもちゃを買い与える生活が続いている。気持ちの切り替えが難しく自分からなかなか謝ることはできない。また本人ができることも手助けしてしまうことが多く依存心が強い。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人のできることを見つけモチベーションあがるよう道具を使用しコミュニケーションをとりできることを増やしていった。
- ・言葉だけではなく実際、実体験してもらうことで「できる！楽しい！」と感じてくれた。

事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-68. 委員会考慮ポイントカテゴリ ② ③ ⑦**

盲（弱視）ろう、（高度難聴）知的障がいの A さん。食事は一人で食べることができないため介助が必要とするが気持ちが不安定だと険しい表情になりテーブルを足で蹴り倒す、食事を拒否するなど本人の表出がある。ご飯にはトマトケチャップをかけないと食べることができない。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が冷静になれる時間を設け見守る。
- ・テーブルにスプーン、トマトケチャップ、飲み物を置き、落ち着いたら物に触れていただいて選択してもらう。

事業所判断ポイントカテゴリ ② ③ ⑦

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-69. 委員会考慮ポイントカテゴリ ① ④ ⑧**

利用者各自に旅行先の選定を行った際、雑誌や動画等により数か所の情報を視覚的支援により実施した。口頭で説明するよりも興味を抱く利用者が多く、浸透していった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・食事内容（メニュー：寿司、ステーキ、ラーメンなど）から場所の選定を広げ決定へ繋げた。

事業所判断ポイントカテゴリ ① ④ ⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-70. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑥ ⑦ ⑧**

外出の行事に参加したくないと何度も繰り返し話す利用者 F さん。  
理由を聞いてみると、「活動中に県外のラジオが聴きたい。県外のラジオが聴けないなら行かない。」とのこと。F さんはラジオを聴くのが好きで、施設でもご自宅からタブレットを持参してラジオを聴かれている。  
F さんに、「どうすれば県外のラジオを聴く事ができますか？」と質問したところ、「自分のタブレットなら聴く事ができる」と話されたため、ご自分のタブレットを持参して参加するのはどうかと提案した。すると F さんは、「それなら参加する」と納得された。  
行事当日、ラジオを聴ける時間は少なかったが、本人は少しでもラジオが聴けたことに満足され、みんなと一緒に行事を楽しんでいた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・参加したくない理由や解決方法を本人と話し合い、本人の意思を汲み取る事ができた。
- ・参加しやすい方法を本人と一緒に考え、実行する事ができた。

事業所判断ポイントカテゴリ ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑩

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-71. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

ショート中テレビを見たい利用者が二人いて、お互いに見たい番組が違うため、それぞれに一緒にひとつのものを見る（順番、時間を決めて）か、別の場所にあるテレビで見るか等を提案したところ、一人の方が移動してくださり、お互いに見たいテレビを見て楽しむ事ができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・別の場所にもテレビがある事等の情報提供をした。
- ・案をだし本人を選んで頂く事ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-72. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ③**

・外出の際お店で買い物した時に、何を購入したらよいか迷っているAさん。支援者から商品購入を誘導するのではなく、本人が納得いくまで商品を手に取って選んでもらった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が選択するまで支援者が辛抱強く待つ。
- ・興味を持った商品は分かりやすく説明をしていく。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-73. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ③**

・持ち物、服装にこだわりが強いAさんは場面の切り替えが少し苦手な方。自分の気持ちを伝えるのが苦手なため意思表出の手立てになればと数種類のカードを用意した。そのことで日中の活動を選択する事が出来、意思表出が出来るようになってきた。今まで口頭で確認していたことが本人から意思を伝えるツールになってきている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人だけの特別なツールになったことで使用しやすくしやすいものになった。
- ・自分の要求が伝わることのうれしさを体験できたことになっている。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-74. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④**

Aさんは自閉症です。いつも2階で過ごしています。2階での活動スケジュールを組んで取り組んでいますが、突然1階に降りて行ってしまうことがありました。そこで要求カードとして1階に降りる際のカードを提示し、いつでも1階に降りて良い事を視覚的に理解してもらうようにするとカードを使い、スムーズに移動が出来る様になってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思表出があり、視覚的支援(カードでの提示)を行ったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-75. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑥**

事業所で刺し子を毎日のように楽しんでいるTさん。材料は事業所で用意した物を使い、出来あがった物は他事業所の店舗に置かせてもらい販売しているが、時々、そっと隠してグループホームに持ち帰ろうとしていた。刺し子を飾る額を買ってきて、事業所の部屋に飾るようにしたところ隠して持ち帰ろうとすることが減ってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・持ち帰ってしまう理由はホームの職員に見せたいからと思われるため、多くの人に見てもらえる機会を作ったこと

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-76. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑥ ⑦**

利用者Mさん(男性、ダウン症)は、言葉でのコミュニケーションや意思表出が困難で、実物を見て選択するなどの支援をしている。普段、生活介護の利用時間後は夕方に日中一時支援事業を利用して過ごしている。そして、夕方におやつとして食べるパンを事業所内のパン工房から購入している。当初はMさんが好みそうなパンを職員が選んだり、生活介護利用中の休み時間(お昼)に事前にパンを選んでもらったりしていたが、食べ残してしまう事も多くあった。そのため、夕方の日中一時利用時間にパン工房に一緒に行き、食べたいパンを自分で選んで頂くように支援したところ、完食されるが多くなってきている。最近ではパンを選ばない、つまり「いらない」という意思表示も見られるようになってきている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の表情や行動を良く把握して、気持ちや意思を汲み取るとする支援ができた。
- ・食べる直前に選んで頂き、本人が選択するタイミングや場面を配慮した。
- ・実物という本人にとって分かりやすい情報提供をすることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑦ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-77. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑦ ① ⑥ ⑧**

利用者Tさん（男性、自閉症、）は、聴覚過敏があり特定の利用者の声や動きが気になって、集団活動への参加が難しい。入所されて5年目位から事業所で過ごせる時間も短くなり、他の利用者が通所する前の時間（8：45～9：00）に、個室で作業に参加している状態だった。その後、本人が安心して過ごせる個室を用意したり、職員との信頼関係を築く等の支援を続け、3年間で少しずつ事業所で過ごせる時間が延びた。1年前からは本人と話し、給食の献立を確認して食べたいメニューをご自身で選択され、そのメニューの時には給食を食べ終えて13：30頃まで事業所で過ごすことができる日も増えてきた。給食の配膳下膳や健康診断等、他の利用者と一緒にいる短時間の場面にも少しずつ参加できるようになってきている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を尊重し、時間をかけながら自発的な行動を待つことを心掛けた。
- ・信頼関係を築き、本人が安心して過ごせる環境を作ることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦ ① ③ ⑤ ⑧ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-78. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

活動室にて過ごすことが困難であり、一日の大半を廊下にて過ごしていたが、徐々に活動室にて過ごす事が出来るようになり、且つ活動にも参加することが出来るようになった。本利用者の好きなこと（文字書き）と一緒にやりましょうとの声掛けから始まる、本利用者が自ら活動室へ入室するまで待つ。自ら入室した後は、一緒に文字書きを行い（本利用者が納得するまで）、その後、退室、その繰り返しを行ったことで、AM,PMの入室が可能となる。取り組みも最初は文字書きだけだったが、徐々にがんばること（作業など）と題して、一緒に目標を決め、それを終了した後、文字書きを行うまでになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本利用者の気持ちを大切に待つ。
- ・本利用者の好きなことから始める。
- ・一緒に目標を決め、本利用者が納得した上で取り組む。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-79. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑦**

Aさんは物を選ぶのが苦手で長年にわたり2つの物から選んでもらう支援をしてきたが、指差して選んでいたが選ぶ際にまだ迷いがある様子が伺えたので文字にして丸を書いてもらうようにしてみた。始めの内は指差し同様迷いが伺えたが徐々に丸を付けるのが早くなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・指差して選択をしていたが丸を買う事で意思がはっきりしてきた。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-80. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑦ ⑥**

Aさん（36歳・重度自閉症）は、登所後すぐに『本屋さん』という言葉<sup>③</sup>を連呼しながら、徐々に不安定化。外出して好きな本（雑誌）を購入したいのだろうという意志を汲み取ったため、職員と共に外出してリサイクルブックショップに行き、Aさんが好む本を納得するまで選んでもらい購入したところ、それまで険しい表情で不安定な行動を見せていたAさんも、満足気な表情を見せて落ち着きを取り戻した。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさん自身が納得するまで、本選びに十分な時間を割く事ができた。
- ・リサイクルブックショップという店舗選択は、雑誌ジャンルが豊富な事に加え本人の支出をセーブできた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-81. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑥ ⑦**

Nさん（自閉症）水分摂取の要求が多く、他者の飲み残した水やお茶などを飲んでしまいトラブルになる時があった。自分から訴える事はできる為、おかわりが欲しい時には伝えてくるように話してはいたが、「お」という発言で色々な物のおかわりを要求していた為、本人が自分の欲しい物をカードから選択し、職員に伝えてくれるようなカードを作成した。（水、お茶、日誌、毛糸など、本人が活動内で要求してくるものを絵カード化した）  
おかわりを伝える際にはカードを提示するようになり、今欲しい物を自分で整理して伝えようとして来るようになった。他者のお茶などを飲んでしまうことは無くなりはしないものの、話をするとおかわりを伝える事ができるようになってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自分で選択し伝える形をとることにより、コミュニケーションの機会を設定することが出来た。
- ・自分で提示するともらえるということを覚える事ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

日中活動系

**A-82. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧ ⑥**

Aさん 作業能力があるものの、集中力が続かず、疲れたとトイレに出してしまうことが多くなり、時間終了まで活動することができなかった。本人のやりたい仕事を聞き、時間を区切り作業を数種類提示することで、時間内に切り替えを行うことが出来るようになり、作業時間終了まで作業を行うことが出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・好きな作業の中でも、本人が出来る作業をできる時間で設定した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑥**



【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

就 労 系

**A-83. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑧ ⑥**

パン作りや菓子作りなど、食品製造に携わっているAさん。新しい製品のアイデアなどを出してくれたり、パンに表情を付けたりするなど、意欲的な取り組みが日頃から見られている。施設を休んだある日、保護者と共に来園し、新たな疾病が見つかったので話がしたいと面会に訪れている。検査の結果、「甲状腺の病気が見つかったため、作業種を変えて欲しい」と保護者から話を切り出された。疾病については定期通院・服薬調整をしながら様子を見ていくという。本人は保護者の前では委縮している。いつもと違って元気が無く、保護者に言われるがままの状況が見て取れた。両者に対して作業種（下請けなど）は他にもあるため、変更は可能である。しかし、急な話なのでこの場ではすぐに結論は出せないことを伝えている。別日、Aさんが登園した際、先日お話をした件について、保護者はああ言っていたが、Aさんとしてはどうしたいのか伺っている。今までの取り組みの様子やもし、他の作業（下請け）に行った場合はどのようなことがあるかなども伝え、しばらく考えた後、「今まで通りにやってみる」「がんばってみる」との返答があった。作業中など、もし調子が悪いのであれば職員に声をかけて、休憩などを取り入れても大丈夫だということ伝えた。保護者へ連絡を入れ、今までの取り組みの様子や本人が引き続き頑張ってみると話した事について説明をし、病気と向き合いながらこれまで通りに見守ることとなった。その後、通院や不調等で欠席することもあるが、以前と変わらずパンやクッキー作りなどへ関わり、生き活きと笑顔で取り組んでいる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・保護者が同席している場ではいつもと違う態度・表情が見受けられたため、結論を急がず、日を改めてまずは本人がどうしたいのか確認を取った。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

就 労 系

**A-84. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

就労継続支援B型A女子利用者から来年3月に例年来年3月に支給予定の特別工賃だけ手取りで欲しいとの要望があった。理由は服薬の影響もあるのか最近太って洋服が合わなくなり、洋服を買い揃えたいとの事。通常工賃類は振り込みとなっているが、3月まで待たずに急ぎ揃えるべき内容なので、成年後見人の妹さんに話を話して出してもらおうよう進める。後日、通常の毎月のお小遣い2万円の他に衣料代1万5千円を出してもらおう事が出来、洋服を買い揃えているとのことである。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-85. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

主に A 作業中心に行っていた利用者に対し、B 作業が忙しい状況であったため、体験の機会も含め手伝いをお願いしたところ、B の作業に興味を持ち始め「これからも B の作業を行ってみたい」との希望があった。そのため、本人の意思を尊重して B の作業に移ってもらったところ、A 作業よりも B 作業の方が利用者の持っている力が発揮でき、今では量産を期待されるメンバーの一人となっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・色々な作業を体験してもらった結果、利用者自身が自分に合った作業を見つけ、取り組みたいという気持ちが高ぶり意思表示してきたため、本人の意思を尊重し作業変更できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-86. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

年間行事等で、実施内容を利用者間の話し合いの中での意思・意向を尊重している結果、職員に指示されるのではなく、利用者自身がやりやすい方法を考えて実行するという習慣がついてきた。例えば芋煮会、数年施設外で行ってきっていたが、身体的理由等により毎年決まって参加できない人がいた。そのような状況の中、利用者の話し合いの中で A さんの意向として「全員が参加できる施設内で行っては」という方向性も出てくるなど、受け身ではなく全体のことを考えて利用者自らが発信できるようになってきている。実際、今年は A さんの意向に他利用者も「みんなが参加できるからよかったね。」「いつも H さん来てなかったね。一緒に芋煮会できるね。」と賛同し施設内で実施し、普段参加できない利用者も参加することができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・利用者同士が積極的に話し合える場を設けているため、自分たちが作る行事として活発な意見を述べられる環境の中で、話し合いには参加しているが、普段行事に参加できない利用者もいたため、A さんの思いやり意見も出てきたのではないかと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-87. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

精神障がい、女性 N さん

内職作業中、突然掃除機をかけ始めた。職員が掃除の時間ではないがどうしたのか聞くと N さんより「ホコリが気になった」と話があった。職員は話を聞き掃除機をかけてもらった。

今まで動くことを好まないと思っていたので、掃除機当番を頼んだことがなかったが、とても丁寧に隅々まで掃除機をかけることができるということを知ることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・突然かけはじめた掃除機を止めなかったことで掃除が得意なことが分かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-88. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

Tさんは10年以上一人暮らしをしていたが、上の階の騒音などにより実家へ戻り実家で暮らすことになった。それが決まった直後より、今まで見られなかった行動や不安定な様子が見られ、表情も暗く沈んでいた。「10年以上一人暮らしをしてきた」「一人で何でも出来る」等の言葉も聞かれていた為、十数年ぶりに実家で暮らすことへの不安もあるのではないかと考え、現在の施設での状況や聞かれた言葉等を保護者へ伝えた。その後、本人と両親で今後について話し合われた様でTさんは以前通り、別のアパートで一人暮らしとなった。その後、Tさんも以前の明るく元気なTさんに戻られた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Tさんの施設での様子から、本人の一人暮らしへの希望を汲み取った。
- ・保護者に状況を伝えるなどの連携をとることで、自宅では分からなかった本人の気持ちを分かり、次に進むことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-89. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑦ ⑥**

外出活動の際、カラオケに行った。その際、ワンフードを必ず注文しなければならないシステムになっており、周囲の人は、皆さん頼まれていたが、Sさんは「いらない」という意思を出された。必ず一人一品というシステムではあったが、Sさんに確認し「お腹すきませんか?」「お昼まで時間ありますよ?」と問いかけたが、それでもいらないということだったので、Sさんの分は皆さんでシェアできるものを頼んだ。Sさんは最後まで食べなかったが、帰りがけに「お腹すいた!ペコペコだ!」と強くお話されることがあり、さっきなぜ食べなかったか聞くと「お昼で沢山食べるんだ!お腹すかせたんだ!」とお話があり、Sさんには「お昼はきっと美味しいですね」と話すと、「早くお昼の場所に行こう!」と元気に昼食場所へ向かった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Sさんのその場での「いらない」という気持ちを尊重した。
- ・Sさんが次のことを考えて行動できる、計画性を持っていることが分かった。
- ・帰りに「お腹がすいた」と言ったとき「食べれば良かったですね」と声掛けするのではなく「さっきはどうして食べなかったのですか?」と聞くことで本人の目的が分かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-90. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

事業所を利用開始して間もない男性利用者。当初は数種類ある作業の中から、お願いされた作業を行うだけであったが、色々な作業に取り組む事により慣れて行き、自分からやりたい作業を選べるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・一つの作業だけではなく複数の作業に取り組んでいただいた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-91. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑦ ⑥**

時間をかければ自分の意思を表出できるAさんですが、意思の表出に時間が掛かってしまうため、いつも母親が本人の事を決めてきた。しかし、母親の代弁する内容と本人の気持ちにずれがあることに気づき、時間をかけてでも本人の意思を表出するまで「待つ」関わり方を母親と支援員の間で共有することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が時間をかければ意思を表出できるという事が確認できたこと。
- ・本人の特性について母親が納得できるように説明することが出来たこと。
- ・本人に対する関わり方の配慮点（意思表出を待つ等）を支援員と母親で共有することが出来たこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-92. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

Aさんは何度も離転職を繰り返してきたが、現在の会社には3年近く勤務出来ている。

Aさんは入社3ヶ月頃から職場の同僚や直属の上司との間でトラブルが発生するようになり、早退や休みが多くなった。本人から「もうだめです、我慢の限界です。辞めます」等の相談があり、そのたびに本人を中心に支援員と職場と一緒に相談する時間を作り、課題を整理してきたことで働き続けることが実現できている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人との相談の中で「現在の仕事は好き」といった意思表出を確認できたこと。
- ・本人から直属の上司に相談するよう伝えるとともに、支援員から上司に対して本人との相談の時間を取って頂けるよう依頼したこと。
- ・直属の上司だけでは解決できないことについては、責任者や所属長も交えたケース会議を実施し、本人の気持ちを理解してもらう機会を作ったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

就 労 系

**A-93. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥**

意思疎通が困難な方で、身障トイレから、下半身を出したまま出てきてしまう。下着とズボンは汚れておらず、再度、履いてもらうように促し、下着とズボンを履いてもらう。その後、更衣室で着替えをしていた。身障トイレに、本人の棚にズボンと下着を置いたことで、トイレが終わると、履き替えることができ、トイレから下半身を出して出てくるのがなくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の行動を把握し、職員間で何度も検討会議を行なう事で職員の意識付けにもつながった。
- ・家族に相談しながら、本人の意思に沿えることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

**A-94. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

厨房業務の補助作業を行っているAさんは、最近、毎日作業中に眠気が強く、朝から身体を休ませて欲しいと、訴えることが増えてきた。厨房内の作業は危険なこともあるので、厨房以外の作業を進めましたが、本人の強い希望により、出来るだけAさんの意思を尊重した支援体制を整え、厨房内の作業を継続して行うこととする。Aさんは、グループホームから通っているので、そのことを報告して、夜間の睡眠時間の確認やその旨を医師に相談して服薬調整を行うなどの支援を行った結果、作業時の眠気もなくなり、Aさんは気分よく作業に従事している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・Aさんに寄り添いながら、事業所間での連携・医師への相談など。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】 A 児童入所・放デイ等（児童系）

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

児 童 系

**A-95. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥**

・小学6年生（男の子）の保護者の方より「夏休みの宿題をやってほしい」と話があったため、本人に宿題を促すと、ページをめくりながら「ん～、やらない」と言う。その後も何度も宿題をめくって見ているため、本人が好きなバスや電車などの乗り物、本人が出来きそうなもの、興味を持ちそうなものに絞る。絵日記を見せながらバスのドライブで見た電車を勧める。すると本人より「何色で描くの？」など職員に聞いてくるため、具体的な色を伝えることで自分から描き始める

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・難しいところではなく、出来そうな所を勧め促した
- ・本人の興味（バスや電車）を生かすことで、意欲につなげた

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

児 童 系

**A-96. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑧ ③ ⑦**

・昼食でカップ麺とおにぎりのメニューがあり、透明な大きな袋に数種類それぞれ入っていた。他の利用児さんは自分の好きなものを選んで食事の準備を始めたが、Aさんは選択できずに黙って立ち、職員を目で追って何か伝えたい様子であった。職員が声をかけると、「何があるの？」と言うため、袋の中では分かりにくいので、全ての種類を並べて分りやすくする事で時間はかかったが、選択することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・全ての種類を並べる事で、選択しやすくした
- ・Aさんの行動を見落とさずに声をかけたことで、Aさんの思いを聞くことが出来た

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑧ ③ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

児 童 系

**A-97. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑧**

情緒面において不安定になることで自傷行為（リストカット）がみられているが、身辺面は自立している。なかなか自分の気持ちを言葉で伝えることを苦手としており、こちらから複数の選択肢を提示したり、紙に書いて分かりやすく優先順位をつけたりしながら意思の確認を行っていった。また、日頃から思ったことをメモする習慣を付けてもらった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉で理解出来ることもあるが、記憶力が乏しい為に紙で伝えることで記録にもなった。
- ・複数の職員が関わりを持つ為に、メモに残すことで職員間での本人の意思の情報共有をスムーズに図ることに繋がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-98. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑥**

自分の思い通りに出来ないことがあると頭を叩く、腕を噛むなどの自傷行為がみられた。スケジュールなどの視覚的提示物を活用し、本人の要求を叶えつつも、他所の要求を受け入れる外出計画を取り入れ、要求をカードで出す練習を行っていった。まずは職員と交渉を行い、その後職員が同行しながら保護者ともカードの練習を重ねた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・移行先の事業所でも同様に他者に要求が出せるように自宅用と事業所用のPECSカードを作成し引き継ぎすることで在宅へ移行後も統一した支援が図ることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-99. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑧**

Kさん。おやつを食べる、食べないを言葉やジェスチャーで伝えることができなかったため、意思表示の絵カードを提示すると指差しで食べないことを伝えた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・2択の絵カードだったため、わかりやすかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-100. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑦ ⑧**

Rさん。外食に行く際、事前にメニューが写真で掲載されているものを提示し、食べたいものを選んでもらった。(食べ物の好き嫌いがあり、雰囲気によって選ぶことができなくなってしまうことがある)自らが選んだメニューであったため、戸惑うこともなく、残さず食べることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真入りのメニューであったため食べ物のイメージができた。
- ・行きたい店が決まっていなかったため、メニューのバリエーションが多い店を選んだ。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-101. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

Bさんの課題後のご褒美で、玩具で遊ぶか尋ねると遊ぶと言う。言葉ではどの玩具と表現しにくいBさんなので、一緒に倉庫へ行って、本人が玩具を選ぶ。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・したいことを上手く伝えることが出来ないお子さんも以前の経験もあり選択肢があることで、やりたいことを選ぶことがスムーズだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-102. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦**

ディズニー系のパズルを好み、特にお気に入りの2枚を課題に加え取り組んでいたAさんに、新しいディズニー系パズルを購入したものを勧める。初めは、そっぽを向き眼中にない様子で嫌がり手に取ってもらえない。担当スタッフが、課題の度に出して、本児の好きなキャラクターで、同じだよと勧め、徐々に取り組め出している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自閉傾向のお子さんで、気に入ると集中力を発揮するが、はまるまでの設定、声掛け、待つ配慮が必要

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-103. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

〈個別指導の場面で〉 Aさん(男児・未就学)

対面での課題をする為に一旦は着席したものの、やはり離席が目立ってしまうAさん。課題に使うワークを広げると関心を示して再び着席したものの、すぐにワークを閉じてしまう。スタッフは「おわり(やりたくない)」のサインだと理解、Aさんの好きな型はめに切り替える事で取り組んでいる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

音声言語ではなくても、Aさんの行動から気持ちを汲み取って対応出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-104. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

〈個別指導の場面で〉 Bさん(女児・未就学)

やりたい課題があったようで、「あれ…」と言いながら教材を指さして要求する。スタッフはそれを了解しながら、事前に用意していた課題もやって欲しいと促すが黙ってしまう。しかし、本児と相談して作っていた意思表示の為にカード(ハートマーク=はい、やりたい バツマーク=いいえ、やりたくない)を提示して選択を求めると、すぐにハートマークを「これ」と言って指さしする。やりたい課題が出来て満足し、他の課題にもきちんと取り組めた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本児の要求を了解した。
- ・意思表示がしやすいように、日頃からカードを使用していた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**



【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-105. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑤ ⑥ ⑧**

年1回実施している夏レクリエーションの行き先を決める際、今までは経験が乏しかった事もあり、質問しても明確な返答が得られず、場所の選定は職員が行っていた。昨年、買い物支援の帰りに猪苗代湖まで足を延ばすことができ、その時に経験した湖水浴が楽しかった様子であった。今年度、行き先の希望を聞くと「また行きたい」との希望が出た為、数名の児童で湖水浴を実施。参加者皆が大喜びであった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・湖水浴を経験する機会を設けたことで、外出先の選択肢が増えた。
- ・外出先の希望をとってから決定している。
- ・郷土の自然に触れ、季節ならではの内容にできた。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑤ ③ ⑧ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-106. 委員会考慮ポイントカテゴリ ② ⑥ ⑦**

服薬拒否が強い方がおり、服薬支援に時間がかかってしまう為、本人・職員ともに負担が大きい状況であった。主治医に相談し、服薬時間を調整した（時間に幅を持たせた）ことで、本人が“薬を飲む”という意識になるタイミング、納得できるタイミングで服薬できるようになり、お互いの負担が軽減された。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の“薬を飲みたくない”“薬を飲む”という意思を大切にできた。
- ・看護師や医師と連携して支援ができた。

事業所判断ポイントカテゴリ ② ⑦ ⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児童系

**A-107. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑥ ⑦ ⑧**

利用回数が少なく月に3回程のAさん。活動の参加には自分から入って来れず、一人で遊ぶ姿が見られた。他の利用児童に誘われても言葉が出ずに下を向いてしまった。ホワイトボードに活動内容（本人の好む）、参加する人は写真を貼るように事前に提示し、事業所到着後に決めてもらうと出遅れがないからか参加の意思を見せ、他の児童と同じように参加し、遊ぶ事が出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・周りから乗り遅れると一歩が出ないので先に選択できるようにし、対等な関係を作る事が出来た。
- ・本来は活発なので意欲の出る活動を提供した。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑧ ① ⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-108. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

長期休みの際に行き先を決めていたが、利用日によっては違う事をやりたい利用児童もいる為に利用児童に希望を取り、それ以外にもリストを挙げ時間、担当指導員も提示し提供した。利用児童が納得した上なので入りから終了まで楽しさと利用児童なりの責任感を持って行動出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・希望を事前に聴き取りし、可能な限り提供できるように支援体制やリスク回避を検討している。
- ・何が楽しかったか、何がつまらなかったか、何が良くなかった等話を聞き、次に活かせるようにした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-109. 委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑧**

誕生日で食べるケーキを選ぶに当たり、文字や言葉だけの提示だとケーキの想像が出来ず選ぶことが難しかった。だが写真を添えて提示することで、実際にケーキのイメージがしやすくなり、ケーキ選びも楽しくスムーズに選択できるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的に情報を伝えることでケーキの種類を分かりやすくした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-110. 委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑧**

遊びの時間、何をして過ごせばいいのかわからない児童がいた。ゲームが好きな児童だったので、一人でプレイできる「DS」を勧めてみると「マリオのゲームがやりたい」と返答があった。その児童に対して初めての「DS」の提供であったが「やってみたい」という意欲的な反応があった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・その児童の好きな活動の中から遊びの提供を行い、積極的になれる姿勢を引き出した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-111. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑦**

自宅や外出先のトイレでは立ち小便や排便ができるが、事業所のトイレでは泣いて排泄することを拒みオマルで対応していた。自宅や外出先と事業所のトイレの違いを見出すため、保護者と情報を共有しながら本児が苦手とするものや考えられる環境要因を想定しさまざまな工夫・支援を試みたことで、要因を見出し配慮することで、現在はトイレで排泄ができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・さまざまな工夫、支援を試みたことで、要因を見出すことができたと思われる。
- ・職員が共通意識を持って統一した支援を行うことができたと思う。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-112. 委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ④ ⑥**

集団指導枠を利用している小学6年、男児 T さん。特定の他児からの身体的な質問攻めが嫌で登園を迷う事があり、本児と相談する。具体的に困っている点、嫌な点、改善してほしい部分など本人の意思確認を行い、対応を検討する。送迎の車を2台に分けたり、別の部屋を利用し活動する部屋を部分的に分けたりすることで特定の他児との接触の回数を減らす対応をする。嫌と感じる場面がなくなり、安心して通えるようになっている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉でのやり取りが可能であるため、相談という形を取り具体的に意思の確認が出来た。
- ・スタッフの体制をすぐに変更し、本人の安心につながった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-113. 委員会考慮ポイントカテゴリ ② ③ ⑧**

課題への取り組みを嫌がる H さん。他の課題提示を行いどちらがやりたいか本児が選択できるようにした。

提示の仕方は、具体物で行い分かりやすくした。興味が出て、自分の好きな方を選び、課題に取り組むことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的な情報で選択肢を提供した。
- ・用意した課題へ取り組んでもらう事へ固執せず、意思を確認する動きが自然に行っていた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-114. 委員会考慮ポイントカテゴリ ① ③ ④ ⑧**

・場面緘黙のため言語的コミュニケーションが難しい B さん。学校の授業にて地域の建物を学ぶ機会があり、新しくオープンした C に強い関心を示したとの報告を受けた。本人に確認するため筆談にて尋ねると、「行ってみたい」との発言あった。事前にパンフレットを渡し、B さんの「行きたい場所」に印をつけてもらっていた事で限られた外出時間の中でも、それぞれを巡ることができ笑顔へとつながった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・事前に情報を提供したこと。
- ・筆談を用いたこと。

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-115. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑤**

・利用者Tさんは、自分のやりたいこと、してしまいたいことを言葉で伝えることができないため、ジェスチャーで職員に訴える。そのことに対し職員は何がしたいのか聞いたり、ジェスチャーを理解してあげ、その子のやりたいことを出来るよう配慮する。すると、喜びの表情を見せたり、拍手で嬉しいという行動をし、納得する。(DVDが観たいと指を指したり、絵本を読みたいと本を開くジェスチャーをする等)

【配慮出来たポイント及び考察 等】・その子の希望を理解してあげることで、情緒の安定、満足感が得られる。

・ジェスチャーや何を訴えているか分からなかった場合、その場所に連れていったり、その子に〇〇?等と質問しうなずいてもらう。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ②**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

児 童 系

**A-116. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑧**

Kさんは20代の男性。今年3月に卒園し、これまで職場実習に行っていた事業所に就職が決まり、4月よりアパートを借りて働きに出ている。金銭面が心配なため社会福祉協議会の「あんしんサポート」を契約して生活している。万が一に備えて任意加入の火災保険に入った。食事面は支援センターからアドバイスを受けている。今後は休日の休みの過ごし方や、交友関係をどう築いていくのが課題である。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・初めから無理だと決めることなく、一つひとつ関係者が話し合いを持ち知恵を出し合って解決していく事が大切だと思う。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

次の事例（A-115～A-120）は、事業所判断では失敗事例とされた事例ですが、委員会の話し合いの中で成功事例にさせていただいた事例です。

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

居 住 系

**A-115. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功事例 ③ ⑤ ⑥ ⑦**

日常会話の中で、N利用者から通所事業所に行くときに着用する衣類を購入したいとの要望が出た。その為、職員と買い物に出かけることになった。外出前の本人への事前説明では、通所先で着用するものを購入することで本人と確認をした。数か所の店舗を回りN利用者自身が選んだ衣類を数着購入し、帰路に就いた。その際、古くなった衣類は本人同意の上処分したが、N利用者も納得していた。しかし、購入してから1週間以上が経過しても通所先に着て行く様子が見られなかった為本人に聞いたところ、事業所に着て行くのではなく、それ以外の外出時に着用するものと本人の中で決まっていた。初めから外出時の衣類を購入しなかったのか、急に心変わりしたのかは聞き取りできなかった。再度本人と外出して購入したところ、今度は理解し通所先へ着用していている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・衣類購入委に至るまでのコミュニケーションが支援者としては十分行ったつもりでいたが、利用者本人は違う理解をしていたと感じ取れなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗事例 -② -③**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

居 住 系

**A-116. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功事例 ③ ⑥ ⑧**

Aさんは月に1度の選択メニュー（かつ丼と海老天丼）で、盛り付け例の写真をしながら海老天丼を選択した。当日になり、選んだ海老天丼を提供するが、自分が選んだのはかつ丼だと主張。当日、どんぶりを見てボリュームがあった方が食べたかった様である。不安定になってしまい、交換しても良いと言う方と交換し提供した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・メニューを選択した日から何日も経過しており、その間選択メニューの話をしなかったため、どちらを選んだか忘れてしまったと思われる。
- ・メニューの写真掲示にあわせ、選択者の提示などもしておけば、当日まで楽しみを持って過ごせたと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗事例 -① -⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-117. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ③ ⑤ ⑥**

支援学校（男性 18 歳）を卒業し、親元から離れグループホームへ入居となり、一般就労がしたいということで一般就労をしたが生活環境・仕事への状況に対応出来ず、親元へ戻る事になり退去になってしまった。グループホーム入居から 2 ヶ月過ぎた頃から、毎週末になると母親のもとへ外泊するようになり母親の援助を受ける経緯があった。その間には、関係者が何度も集まり、本人と話をしたが自分の意思が強く退去というかたちになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・最初の段階から、コミュニケーションを頻繁に行うべきだった。
- ・随時、意思確認が出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗実例 -③ -④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-118. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ② ⑧**

M さんは 30 代男性。自閉症で発語がほとんどない方である。休日の余暇活動として DVD を購入する際、先輩職員から M さんは車やスポーツのテレビ番組が好きであることを聞いていたため、車や乗り物の DVD を購入して見て頂くことにした。しかし、M さんは DVD を数分見た後ポーっとして楽しんでいる様子がなかった。

ある晩、居室でテレビをつけてスポーツニュースやアニメを見ている姿を見かけたため、後日アニメを含めた DVD を用意して選択してもらったところ、アニメの DVD を指さし、30 分のアニメが終わるまで鑑賞して楽しむことができた。

固定観念にとらわれず、事前に現在の嗜好を確認することが必要であった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・経験が少なく、今まで見てきたものしか見ないのではないかという固定観念で判断してしまった。
- ・言語表出が難しい M さんに好きなものを確認することが難しかったため、先輩から聞いた話だけで判断してしまった。現在の嗜好を探るには、集中して見ているテレビ番組は何かなどの事前のリサーチや写真を見せて選択してもらう等の工夫が必要であった。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗実例 -① -④ -⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

居 住 系

**A-119. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ② ③ ⑥ ⑧**

行事で喫食するケーキを事前に写真を見て選んで買い準備したが、当日になると、自分で選んだケーキではなく、他の方が選んだケーキを食べたいとの希望があった。食べたいケーキを選択した方の中に、交換しても良いという方がおり交換してもらった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ケーキの上に好みのキャラクターが載っており、普段の好みとは違った選択をしていることに職員は気づいてはいた。ケーキの味等を含め十分な説明と、何度か意思の確認をするべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗実例 -② -⑧**

**A-120. 委員会考慮ポイントカテゴリー 成功実例 ① ③ ⑥**

ダウン症 Cさん（男性）20代 発語なし

昼食途中で突然立ち上がり、残食があるにもかかわらず食堂を退室。トイレに行くのか見守るが行かず、玄関に向かう。職員は食器の片付けをしてから移動するように声掛けしたが拒否が強く怒った声と表情が続く。玄関に向かう行動から考察し、昨日本人の前で10月の外出活動の話をした事で本人は本日が外出日だと思っただけの行動だったことが判明。車のカギを見せると納得し、食器の片付けをしてから外に向かい、予定を変更して本人の思いに沿って午後は外出活動とした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の行動に隠された思いをよく確認せずに、食器の片付けの声かけをした事で、本人を混乱させてしまった。
- ・外出活動について、職員の予定と本人の思いにずれがあり、気持ちを汲み取るまでに時間がかかってしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー 失敗実例 -② ⑨**

## 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.3」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表示支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-1. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -⑤ -⑦ -⑧**

利用者Yさん（男性）は、気持ちの浮き沈みが激しく支援が難しい利用者の方です。食事や入浴も常に自分のタイミングで行動され、職員が声掛けすると泣いて拒否することもあります。日中活動も居室から出ず寝ている事が多く、保護者からも日中は起こして活動させて欲しいとの希望もあり、活動内容と場所を選択できるように示しましたが、拒否して、廊下に寝そべったり、何度も事務室へ通うようになってしまい対応に苦慮しております。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人に意思確認を求めるが、やりたい活動など見つけられない状態です。
- ・次の活動内容を示し、本人の自発的な行動を促していくなどの支援を行っていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -⑤ -⑦ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-2. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨ -⑥**

利用者本人が自宅へ帰省したいと希望されても、ご家族の都合が優先されてしまい、帰れない事もあります。気持ちが落ち込み、不安定になったり暴力的になる利用者もおります。帰省だけではなく、外出や面会、行事への参加など、違った形でのご家族との関わりを持てるような配慮が必要でした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ご家族の意見を尊重したため、本人の要望をかなえることが出来ず、代替え案を提示する事が出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-3. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -④ ⑨**

ご本人さんは日中でも「ねんね」と言い布団に横になりたい要望がある。しかし横にばかりなっていると体力的な維持ができなくなるため頑張って身体を起こして頂くが、情緒面が不安定になり服脱ぎや床に放尿してアピールをしてくる。要望通りに布団に横になれば不安定な行動につながらないと考えるが、体力を維持するためには身体を起こしてほしい。ご本人さんの要望に応えることが困難な状態。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ご本人さんの要望より支援者側の考えで対応してしまっている。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-4. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑦ ⑨**

自販機やお店などでなかなか決められず迷っている方がいた。後ろに他の方が並んでしまうとなかなか迷っていることに対して待つことができず、こちらで本人さんの好きそうな物を選び購入することがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・数が多いことでなかなか選べず、周囲のことを気にしてしまった。
- ・購入する前に情報を提示するべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリ 無回答**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-5. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -④ -⑦ ⑨**

Iさんは意志が強く、アドバイス等をなかなか受け入れることが難しい方であり、日ごろから季節に合った服装や古くなった衣類の処分の対応に苦慮していた。旅行前日「外出着の準備はしているの?」「一緒に選びますか?」と確認の意味で声掛けする。「服はあるから大丈夫」との返事があったが、心配して再度声掛けしてしまう。声掛けすると無言で不機嫌な表情となり行動も停止してしまう。しかし翌日、外出着を着用して出かけることができた様子。自分の中で区別ができていたのか、声掛けが意識に繋がったのかは不明である。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・以前も外出時に古くなった服で出かけようとして声掛けしたところ、気分を害して外出中止したことがあったため、心配が先走り、繰り返し声掛けしてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-6. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

グループホームの生活の中で、自分のものを意識するようになったMさん。通院後に処方される薬についても自分で保管したい気持ちを示すようになる。(薬を掴んで離さないが増える) 自己管理できることは行うことで調整を試みるが、自室のどこかにしまい込んで、薬の確認が難しくなったり、やりとりで不安定になってしまうことが繰り返され、薬は全面的に支援者管理となる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ルールや約束事を理解してもらうためのツールが見つけれなかった。
- ・薬であり、健康が優先された。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-7. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑦ ⑨**

下着が汚れていなくてもトイレ後に交換しないと不機嫌になるYさん。食事の時間だった為、食べ終わってから交換するように声を掛け食堂に連れて行くが、食べている間もその事を気にしてずっと不機嫌そうにしていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・早めにトイレの声掛けをして下着交換の時間を確保すべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑦ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-8. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑥ ⑨**

家族とのドライブの際に乗り気でないのに、ドライブを勧めてしまい、帰園後、機嫌が悪かった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人よりも家族の意思を優先してしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-9. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑤**

自分で買い物が困難で、言葉も上手く発することが難しい利用者の買い物を職員が代行で行う際、雑誌を購入する為、好みの確認をする。「テレビジョン」と言う為、番組雑誌を購入した。しかし、その雑誌をほとんど見ることなく、他にあった料理雑誌を選び見るが多かった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・テレビジョンと言ったが、実際にその雑誌で良いのか確認する為に、実物や写真等で見て選んでもらった方が良かった。
- ・言葉で発した物と、イメージする物が合っているか確認が必要であった。
- ・普段も料理雑誌を見るが多かった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑤

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-10. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

共有スペースのテレビを見る際に、他の利用者とトラブルがあったBさん。

Bさんの居室にテレビを購入し、トラブルはなくなったが、食事以外は居室から出て来なくなり、他の余暇活動への参加が少なくなりました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・共有スペースの利用について、説明が十分に出来なかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑧ -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-11. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ -④ ⑨**

雑誌の購入を楽しみとしている利用者Cについて、書店で自分で欲しい雑誌を選び、支払いも自分で完璧に出来るようになれば自信にも繋がり、より雑誌の購入が楽しみになるのでは、という見立てから、日中活動で支払いのロールプレイを行うこととした（硬貨を使いぴったりの金額で支払う事は出来ないが、紙幣を出しお釣りをもらうことは出来る、雑誌に書いてある値段を読むことは出来る）。

能力的に硬貨の種類ごとの価値を正確に理解することが難しく、覚えてもらおうと熱心に説明すればするほど、取り組み自体を受け入れなくなってしまった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人はあくまで雑誌を読むこと、その話題を職員に話すことを楽しみとしており、支払いを自分で完璧に行うことは望んでいなかった。

・上記のような状況の中、職員側からの提案で硬貨の価値を覚えてもらおうと思うのであれば、自分一人で硬貨を使い支払う事が出来る楽しさをイメージ出来るような働きかけが必要であり、それがなければ取り組み自体ただ苦痛だけの時間になってしまう。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨ -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-12. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

毎日のコーヒータイムで、コーヒーを口に含むと、含んだ分口から衣類にこぼすこだわりがあるBさんに対し、こだわりの軽減をはかるためにコップに少量ずつ注いだり、エプロンを着けてみたり、待っていたりするなどに対応を試みた。結果的に、余計にコーヒーに対してこだわりが強くなり、盗飲などが見られるようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・こだわりを軽減するはずの支援が新たなこだわりを作ってしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-13. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

Bさんは身長が高くお手伝いをすることが好きな方である。「私、お姉さんだから・・・。」と言い、他の利用者のお世話をする事もある。その行動は他利用者からは目立つ存在だと思われる。その為、他利用者から文句を言われる事も多々見られる。その時に職員は「お姉さんだからがまんね。」と声を掛けてしまう。Bさんは、言い返したり、大声で叫んだりしてみたいだろうな・・・と、職員が思う時がある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・「お姉さんだから。」と言い聞かせ、我慢させてしまっている。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-14. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -③ ⑨**

自分で所有していたリュックが汚れてしまい、すぐに洗濯するようリュックを持ってきたBさん。油性インクが付いて洗濯しても汚れが落ちないことを説明したが納得せず、本人の目の前で洗剤を付け水道で洗って見せたが、納得されなかった。壁や机をたたいて興奮していたので、後日新しいものを買に行き、行くことを説明したが納得されず、当日買い物に行き、新しい物を購入することになった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人に説明したが、新しいものを購入するまで納得しなかったこと。
- ・本人のこだわりが強く、説明しても理解してもらえなかった。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑩ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-15. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

Iさんは定期的に買物したいとの要望がありますが、家族からは買物の際の内容（品物、金額）を事前に教えて頂けるよう話あり。本人の欲しいものは十分に購入できない状況である。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・金額指定が家族からあるため、いつも同じような買物内容になってしまう。

事業所判断ポイントカテゴリ

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-16. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑤ -⑦**

利用者の担当替えがあり、利用者Sさんの担当になった。Sさんと居室で本人の衣類や余暇物を整理して、着なくなった衣類、使用していない余暇物を本人に確認合意の上で処分した。後日、他の職員に処分した事に対して不満を口にしていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・使用していない物でも、本人のこだわりや思い入れ等をもう少し確認して処分すべきであった。
- ・買い物などで新しい物を購入してから、不要な物を確認すべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑤ -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-17. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑧ -③ ⑨**

外出が好きなBさん。本人に、目的地、内容をしてせず、ボランティアさんと外出させる。足取りもフラフラと暗い表情で帰所する。本人に感想を聞くと、しかめっ面で機嫌が悪い。外出できれば何処でも良いというわけではなかったようです。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員の勝手な思い込みで、意思の確認がなかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-18. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③**

定期的に外出して近隣のスーパーに出かけ、コーヒーやお菓子などの購入を楽しみにしている自閉症の A さん。買い物に出かける当日の朝に「今日の夕方にスーパーに行きましょう」と伝えたところ、今すぐ出かけるものと思ってしまい、外に出ようとすることを繰り返してしまった。慌てて「夕方に行きます」、「お風呂に入ってから行きます」と何度も「夕方」である事を口頭で伝えたが納得するには至らず、大きな声を上げパニック状態になってしまった。職員は見守り付き添いをするしかなかったが、しばらく時間が経過した後、興奮も収まると今は外出しないという事が理解できたようで落ち着いた。現在は外出する直前になってから A さんに伝えるようにしているが、前もって予定を伝えるための方法が未だ見出せていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・口頭でしか伝える手段が無かった。
- ・買い物に行くという事は伝わったが、「いつ行くのか」といった時間を伝える事が難しく、そのためのツールも準備していなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-19. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑥ ⑨**

買い物の際、利用者 Y さんが服を自分で選んでこれが良いと言ってきたが、年齢に合わない子供っぽい服であったので、サイズ、色柄等年相応の別の服を提示した。提示後、本人は提示した服を選んだ。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員の主観が入った選択で良かったのか、押し付けてしまったのではないか。
- ・見た目に違和感があっても、本人が選んだ物を優先させるべきであったか。正しい選択は何なのかを考えると難しい。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-20. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -①**

S さんは昭和のアイドルの曲が好きな方。各活動スペースのテレビにインターネットをつなげた事で、活動の時間に S さんの好きなアイドルの動画を観る機会が増えた。S さんも喜んでみており、本人の好む事を提供出来たと思っていたが、次第に S さんの「アイドルの映像が観たい」という要求が強くなり、以前まで活動で行っていた紙ちぎりも全く手につかず、職員の手を引いては「つけて」と映像を流すよう要求するようになった。活動以外の時間も「つけて」と要求あり、今は映像を観る時間ではないと伝えても納得できず、不穏になって夜に寝付けない事があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が好む事を提供できたと思っていたが、それが本人のこだわりになってしまった。
- ・「アイドルの映像は午後だけ」など時間を指定し、メリハリをつけるなどして、S さんのこだわりにならないような配慮が必要だった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-21. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨ -④ -⑦ -②**

利用者Aさんは、1月より施設へ入所し自分の気持ちは言葉で伝えられない方で、本人の基本情報は両親や以前利用していた事業所等に確認をとっていた。入所して間もなく要求が伝わらないと壁を叩くことや職員、他利用者への指反り、噛みつき、叩くことが見られてしまう。本人の意思確認が難しいため、両親に状況を説明して対応策を伺ってきた。本人が好きな事、好きな物など提供をすることで、落ち着いて過ごすこともあるが要求がエスカレートしてしまうことがあった。そのため、本人の意思であるかが不明であった。また、不穏な状況が見られた際に本人の好きなDVDを見せて気分転換を図ってきたが、DVDに対しての拘りが強くなり、日課の声かけに対しての拒否やDVDが見られないと不穏になってしまうこともあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 本人の思いを考察せず、リスク面を優先させてしまった。
- 本人の表情や動作を見て何をしたいのかが読み取ることができなかった。
- いままでの経験を両親に伺ってきたが、本人の意思に添わないこともあり不穏になることがあった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨ -⑥ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-22. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ ⑨**

自閉症のO利用者。感覚刺激が強いことや拘りから、衣類購入は母親が行っていた。しかし、肌着がよれよれになっていた。衣類が劣化していることを本人に説明したうえで新しいものを購入し、劣化している肌着を処分した。しかし、本人としては納得できなかったのか、暫くの間落ち着かない様子や、不安定になることが多くなった。本人は何でも2つ所持したいというこだわりから2着購入したが、落ち着かなかった。衣類購入は現在も母親と連携を図りながら行っているが、支援員が本人と同行して購入できるところまでは至っていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 本人にとっては古くなっておらず、まだ着用できると考えているのではないか。本人の意に反して新しいものを購入したことによってストレスが溜まり、落ち着かなくなっている。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② ⑨ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-23. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

行動障害のある利用者が食事介助の際、スプーンを噛んで離さない事がある。「食べたくないの？」と声掛けをし、スプーンを取ろうとするが、なかなか離してくれない。やっとスプーンが取れ、次の一口を介助しようとする、スムーズに食べて頂ける。食べたいが障害特性で噛んでしまうのか、食べたくないからかんでしまうのか、分からない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- スプーンを噛むのが、多い日もあれば全くない日もある。
- 全部食べないと大泣きする。
- 上機嫌で笑っていても噛むことがある。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -③ -④ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-24. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③ -⑥ ⑨**

好きなものをプリントしたものを一日一枚、お渡しする約束をしている利用者の方がいる。プリントしたものは保護者からお預かりしており、枚数にも限りがあるが、本人は時々二枚目を要求してくることがある。そんな時は貰えるまで興奮してしまう事もある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・一日一枚と言う約束が、本人のその時の状態で、受け入れられる時と受け入れられない時がある。
- ・二枚目を渡してしまうと、今後の要求がエスカレートしていく可能性が有るため、支援者としては出来るだけ渡したくない。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-25. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -④ -⑧**

自動販売機でジュース購入時、いつも缶コーヒーを飲んでいる A さんに、「たまには別な飲物を飲んでみたら？」と声かけし、本人の選択に任せるとジュースを購入した。

しかし、一口飲んだだけで捨ててしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・いつもの違う種類のをすすめるだけでなく、乳酸飲料や果汁（果物の種類）、炭酸系、甘い・酸っぱい等の説明をきちんと行うべきであった。それにより缶コーヒー以外でも好みの物を探ることができたかもしれない。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-26. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

自分の思い通りにならなかったり、周りがうるさかったり、苦手な利用者さんが目に入ると興奮し、大声を出したり、物にあたってしまふSさん。普段の生活で楽しく、落ち着いて生活できるように一人用こたつを設置し環境を変え、苦手な利用者さんが目に入らない位置に変更するなど環境を変えました。最初は、こたつが気に入った様子が見られました。また、以前からぬりえを好んでやっていたので、こたつでぬりえも提供しました。ぬりえは、2、3日で飽きてしまいました。また、興奮することも減少せず、こたつをひっくり返してしまう事もたびたび見られました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・聴覚的に音を遮断する事も必要であった。
- ・数種類のぬりえから選択してもらえなかった。
- ・普段の生活から何を楽しみにしているかを見つけるのが困難である。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑧**



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-27. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

自販機で飲み物を購入する際、飲む種類は決まっているので、「温かいのか」、「冷たいのか」を選んでもらったときに、本人から遠い位置で大きな声で聞いてしまい、最初に「冷たいのが良い」と言ったので、冷たいものを渡す。しかし、そのあと、「温かいのがよかった」と言われた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・大きな声で聞いて本人を混乱させてしまった。
- ・近くに行き、自動販売機の前で本人にやさしく話をかけて、本人に寄り添う配慮が必要だった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-28. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨**

一人でお部屋で過ごすことが多いAさん。みんなで行事に参加できたらと思い参加を促した。しばらくすると、興奮状態になり途中退室することになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Aさんは騒がしいところが苦手だったが、楽しんでもらえるだろうと職員の考えを押し付けてしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -④ -②

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-29. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧ ⑨**

週3回好みの間食を提供していたが、嚥下機能や喫食量の低下、好みの変化があり、間食の提供頻度が減ってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・むせりがあり、ご本人の望みより嚥下能力に合わせた間食を優先で提供するようになっていた。
- ・本人が望む間食を、残してしまうことがあっても意志決定支援を行い提供すれば良かった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑧ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-30. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④**

お絵書きをしていたが、途中でやめてしまいテレビを見始めた。もうお絵かきしないだろうと本人の許可なく片付けたところ、怒り出してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・もうやらないだろうと勝手に決めつけてしまった。
- ・本人の意思を確認するべきだった。

事業所判断ポイントカテゴリー -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-31. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑧ ⑨**

Nさんは入浴後、着替えを渡すと着衣することはなく、怒り、着替えを投げ捨てていた。別の衣類を持ってきて渡すことで笑顔になり着衣していた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・衣類を準備した時に一緒に確認していなかった。職員が本人の好みを推測し衣類を準備しており、好みでは無かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-32. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -① -④ ⑨**

個人外出で買い物に行き、本人に何が欲しいか聞いたがまよってしまい答えが出なかった。そのため、支援員が数点選びその中から選んでもらおうとしたが、決めることが出来ず時間もなかったので支援員が選び購入してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・たくさんの物がある中から選ぶのはたいへんだった。
- ・事前に必要なものをリストアップする必要があった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -② -④ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-33. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -⑧**

夏から秋に変わる頃で気温の低い日があり、Bさんが半袖の服を着ていたため長袖を着るよう声掛けをしたが、身振りで拒否された（Bさんは言葉話されない）。その時は長袖を着たくないという意思表示と判断し、それ以上勧めなかった。後日、ご家族と電話で話す機会があり、そのやりとりを話したところ、本人の荷物に長袖がなかったことがわかった。Bさんの衣類はご家族が定期的に来られて衣替え等をしていたため、その時はまだ衣替えの前であった。Bさんは几帳面な方で荷物もご自身で管理されており、衣類の調整も自分で行なえるので、長袖を着ないという意思表示を誤って判断してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・自分で衣類を調整できる方、という思い込みがあった。
- ・荷物の中の長袖が有無を確認することを怠った。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -② -③ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-34. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

状態不良時に拒否的言動や暴力行為を繰り返す他者に対して、正義感から本人もその利用者に対し引っ掻く・叩く等の暴力行為で相手を鎮めようとする。いかなる場合も暴力行為をしてはいけないを伝えるも理解出来ず、職員の居ないところでの暴力行為があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・起床時より早くに居室に向かい行為に及んでおり、環境調整が出来ていなかった。
- ・両者の障害特性が理解できていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑤ ①**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-35. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

自身の衣類に限らず、他者の部屋から他者の衣類を持ち出し着用してしまう。この為、類似した素材の物や本人の好んでいる衣類を準備し時間帯で本人の希望する服を選んでもらうも、他者の部屋から他者の衣類を持ち出し着用してまう行為は減少していない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が必要とする時間帯に渡す事できなかった。
- ・衣類が欲しい時にカードと交換する支援は、カードの理解が出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑥ ③ ④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-36. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑤ -⑥ -⑧ ⑨**

Nさんは60代男性。以前は毎日馬班活動に参加しており、室内活動場所から馬を見ると、「自分も行かなくちゃ」とよく話される方であった。

夏の暑い日、Yさんの体力的に熱中症が心配されたため、「今日は暑いので室内の活動に参加しましょう」と伝えると、「わかった」と答えた。しかし、数分たつと外へ行こうとするため、再度理由を伝えて室内活動へ促したところ、返事はするものの再び外へ行こうとした。そこで、暑くて具合が悪くなることを再度話したところ、次第にイライラした様子が見られ、他利用者に対して攻撃的な言葉を発するようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Nさんが今までしてきたことへの自信ややりがいについて考えて工夫をせず、具合が悪くなると困るという職員側の目線でしたいことを止めて怒らせてしまった。短時間で馬を見に行ったり、馬班活動のティータイムの時間のみ参加すること等 Nさんの気持ちに沿って体調に影響が出ない形での参加を検討するべきであった。
- ・馬の写真を撮っておいて馬について話をしたり、他に楽しめる余暇活動を一緒に探す等室内でも楽しむことができる活動の提供が必要であった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑤ -⑥ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-37. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -②**

外出先に出かけたSさん。「アイス食べたい。」と言うので、購入すると「いらない。」との返事が聞かれた。Sさんは限られた発語しかないので言語以外の意思表出を見落とさない支援が必要だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・限られた発語しかない方のその言葉の本当の意味を理解することが出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -②**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

居 住 系

**B-38. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑦ -⑧ ⑨**

急遽出かけることが決まったKさん。職員が長袖のシャツを出し、「これ着て行くといいですね。可愛いし。」と渡すと、その服に着替えて出かける。別の日に、イベントがあり外出するため「外出着を選びましょう。」と本人に声をかけると、本人より「長袖嫌だったの。」と話がある。本人に確認せずに服を出してしまったので、本人に嫌な思いをさせてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・急に決まった外出だった為、時間がなく職員の都合で急いで行動してしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑦ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 B 生活介護等（日中活動系）

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-39. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ ⑨**

Bさん 男性 知的障害

現在、通っているA事業所を「辞めたい」との訴えが聞かれる。

辞めてどうするかを確認したところ、B事業所に行くとのこと。（B事業所は、以前本人が通っていたところであり、辞めたところである。）

また同じことを言っているとの思いもあり、気持ちをそらすような声掛けをしたため、時間が経つと何度も同じ話を繰り返してくる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意思を受け止め、時間を掛けて解決しなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-40. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ ⑨**

自閉症の男性利用者さんが、女性利用者さんに近くによる行動をみて、女性利用者さんの間に入るが、男性利用者さんはなかなか動こうとしない。女性利用者さんは、自分の持ち物のバック紐を直されるかと思ひ込み「やめてよ」等、大きな声を出し怒りだす。女性利用者さんに移動して頂くとその利用者さんが座っていた前のテーブルクロスを直す。テーブルクロスが曲がっていたことが気になったようで、クロスを直すと自分の席に戻っている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・支援員が勝手に女性利用者さんをかばうような体制を取ってしまったこと。
- ・本来の目的を見出すことが出来なかったこと。
- ・早めにクロスに気づき直すことが出来なかったこと。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -② -③ -④ -⑤ -⑥ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-41. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑥ ⑨**

事業所の公用車（ハイエース）にこだわりを持つSさん。帰りの送迎時いつものようにハイエースに乗ろうとした。その日の送迎は、ハイエースを使用しなかった。職員が別の公用車で帰ることを伝えるが、パニックになってしまう。Sさんのみ、落ち着くまで送迎時間を変更した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・普段と車が変わるときは、事前に伝えるべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② ⑨ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-42. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ ⑨**

ダウン症の A さん。活動は、本人が決め積極的に参加している。創作的活動をしていた A さんに、天候が良かったので散歩を勧めると「行きません」と返答があった。他の利用者が何人か行くことになったので A さんにも何度も「行きましょう」と声をかけた。A さんは怒ってしまいその後の活動も参加できなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・納得しないと行動に移せない性格を考えて声をかけるべきだった。
- ・無理強いをするべきではなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-43. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③ -⑥**

女性利用者Mさんは、軽作業に取り組んでいるが、本人の体調や他の利用者の作業が気になってしまうと、提示した物が中途半端なままで他のやりたい訴えや、拒否がでてきて取り組む事が難しくなってしまう。そのため、提示した作業を最後まで終わったら、他の作業に取り組めるように支援を行ったが、提示した作業を受け入れる事が難しく、余計意固地になってしまい、取り組む事が難しくなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちをくみ取るように支援を行ったが、拒否の言葉しか聞けなかった。
- ・本人が出来る作業を提示したが、後で確認すると本人の行いたい作業と違ったため、取り組む事が難しくなってしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-44. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -③ -⑥**

水遊びが本当は好きな Y さんは外出活動で過去 3 回“プール”を希望されている。しかし 3 回とも保護者が「他の人に迷惑をかけるから」「水着をもっていないから」等の理由で強く拒否されている。そのため Y さんは一度もプール活動に参加されていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・保護者の拒否が強く、こちらからも勧めにくい状況。
- ・いきなりプールではなく、着衣のままの水遊びから始めてみるのも良いのでは。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨ -③ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-45. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

50代男性。30年以上自宅から園に通ってきていたが、ここ数年の間に両親が亡くなり、以前から同居していた妹と姪の他、今まで別所していた妹夫婦と一緒に生活することになった。環境の変化等重なり、本人の作業への集中力や物事への意欲が低下していった。また、家族と外出した際に食べ物を詰まらせ救急搬送されたことがあり、その後食事も受け付けなくなってしまい、数分毎にトイレに通う等、精神状態が悪化したため精神科に入院となる。3ヶ月の入院治療で状態が良くなり退院、本人も見違えるように表情が明るくなり、食事も摂れるようになり行動面も落ち着いていた。本人より「グループで外出する活動に参加したい。ボウリングに行きたい」と話がある。退院後、園に通い始めて1週間後の行事だったが、本人の希望と家族の「本人が楽しみにしているなら参加させてください」という要望によりグループでボウリング、外出に出かける。ボウリングを淡々とこなし、好きなラーメンを半分ほどしか食べず。翌日より体調不良で園を休むようになり、食欲低下、落ち着かなくなり、再度入院となる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・3ヶ月入院していたことを考慮し、本人の希望であっても「もう少し体調面で様子を見てから出かけた方が良いのではないかと」と声をかけるべきであった。今回のグループ活動以外にも、今後参加できる活動があることを本人に伝えていけば、本人の意思表示も違っていただけたのではないかとと思う。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-46. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

40代男性（自閉症）。苦手な利用者があり、その方が近くにいたり声を出したりするとドアを叩いたり大声を出している。毎年園で参加しているお祭りがあり、本人も楽しみにしているが、今年は事業所を週1回しか希望しておらず、他の行事にも不参加であったため本人に参加するかしないか聞くと、初めは「行かない」と言っていたが、当日の予定表を見せると「行く」と答える。「当日お休みする場合は電話を下さい。電話がない場合はお迎えに行きます」と伝え、当日電話がなかったため迎えに行き参加することになった。班行動では苦手な利用者と一緒にならないように配慮していたが、全体の集合場所で苦手な利用者と遭遇し、突然会場内のテーブルを2回蹴ってしまった。

配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・職員が他の利用者さんの支援をしており本人と苦手な利用者さんとの距離を把握していなかった。  
・「蹴ったこと」自体が本人のどのような意思を表しているのか、読み取ることが困難。推測としては「苦手な利用者との距離が近かった」こともあるが、元々集団が苦手なこと、毎年お祭りの時に大きな声を出し周りの物を叩いたりする行動は見られるため、お祭りに参加して楽しみたい気持ちもあるが、雰囲気や苦手で嫌だという気持ちもあるのか？等も考えられる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-47. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨**

Hさんは自閉症で自分の納得のいかない事や不満等で他傷に及びやすい。ある日、別の組の部屋に入っていく図書館から借りてきた本人の好きな動物が沢山書いてある本を見つけると本人がいつも過ごしている部屋へ持って行ってしまった。図書館から借りている本のため持ち出さずその組の部屋で見ってもらう様、別の職員に言われたが、自分の部屋に持って行く様子が長い時間続き、なかなか返せない様子だったので「本をカラーコピーしてはどうか」と職員が提案した。すると「はい」と返答したため、コピーして渡したが「いらぬ」と言われてしまった。「借り物だから元の部屋へ返さなくてはならない」と本人に話すと叩きがあり、離れて様子を見た。その後もしばらく本を見ていたが自分が納得すると元の場所へ本を返すことが出来た。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・動物の本が興奮材料になり他傷につながってしまうのではと心配し、本人の実際の表情などの様子観察を怠った。
- ・「早く返さなければいけない」と職員が焦り職員側の行動を優先し、本人の行動を待てなかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-48. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

登園後「足が痛い」と支援員に話してくる A さん。本日は運動メンバーに入ってくる旨を伝えると、「行きたくない」と本人からの言葉有。次の運動に参加するためにも本日の運動は欠席して様子を見てもいいのではないかと話すが本人は「行く」との事であった。決して無理をせずに参加することを本人と約束しバスに乗車したが、他の支援員より「足が痛いで室内の活動に参加してください」との話がありその利用者はバスを降りた。

その後、Aさんは活動室で泣いていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に本人と支援員 A がしていた約束を他の支援員へ申し送りが出来なかった。
- ・支援員の考え方の違いが利用者の気持ちを傷つける結果となった。

事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-49. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -③ -④ -⑦**

騒がしい環境が苦手な C さん。音楽クラブ（カラオケ）で不安定な様子が窺えたことから、翌週は静かな環境で少人数の創作クラブに誘導したところ、他利用者と共に合同制作に取り組むことが出来た。そのことから、翌々週も創作クラブに誘導したところ、自ら音楽クラブの部屋に戻った。活動中、険しい表情も見られたが、「クレヨンしんちゃん」の曲が流れると笑いながら飛び跳ねていた。興味がない曲の時は雑誌を見て、音楽クラブの中で過ごしていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の思いと支援側の汲み取り方に差が生じた。結果、支援員の思い込みとなっていた。

事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑦ ⑩



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-50. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑩**

自閉症 Oさん（男性）40代。外食の際に、本人に食べたい物を選んでもらい食べていたが、食べ終わった後に消化不良を起こし体調が悪くなってしまった。 本人の中では旅行等で食べる物が決まっており、注文するが体がついていかなくなっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員が他の料理を進めるが、本人のこだわりが強く助言を聞き入れるのが困難だった。
- ・予め、全体の料理量を本人に気づかれないように減らす配慮があっても良かった。
- ・本人の意思決定を尊重したものの、結果的に体調が悪くなり辛い思いしてしまう。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-51. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑤ ⑨**

自閉症 Aさん（男性）

外出行事で昼食を摂る際、事前に食事処のメニューを写真等で提示し決めていったものの、当日座った席の本人以外のメニューが一緒だった事でそのメニューが食べたくなり、本人の状態が不安定になってしまう事があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他者のメニューも配慮し、座る位置の検討。
- ・当日メニューを決められるように対応できると良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑤ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-52. 委員会考慮ポイントカテゴリ ⑨**

ダウン症 Sさん（女性）

旅行等で本人の意思でお土産を購入する。お土産を楽しみに持ち帰ってきたが、お土産を見た母親が「家にあるから要らない」と言うことで、本人の前で職員にかえした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人は喜んで購入したが家庭では不必要ということで本人の思いを尊重するように母親を説得出来なかった。
- ・少しでも購入した本人の手元に残るように持ち帰れる配慮が必要だった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-53. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑤ -⑦ -⑧**

外出先でジュースを飲む際に、本人が文字を読む癖があり、レジの前でアイスコーヒーと叫んだため、お店の人がアイスコーヒーを出してくれ、本人もアイスコーヒーと言ひ、席まで持ち帰ったものの、2～3口飲んでいない事を支援者に伝えた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が言った言葉と意思が異なっていた。
- ・実物を本人に見せて選んでいただく等の工夫を行うようにすればよかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑤ -⑦ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-54. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -④ -⑥**

施設内でバイキングを行った際に、普段の給食の際もトッピングが苦手な利用者さんが、流れの中でいろいろトッピングしてしまい、パニックになり、食事中に飛び跳ねたり走り出したりしていた。職員が素うどんを作って提供すると落ち着くを取り戻す事ができた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・バイキングの際マンツーマンでつくことができず、一個ずつ確認してトッピングすることができなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -④ -⑧ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-55. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -⑧**

言語表現や意思表示は何とかできる A さん。CD を好んで聴いていることが多く、歌詞もなぞり書きしてみたいとの希望も出され、生活支援員が歌詞を書いて手渡していた。書いてほしい歌詞を手渡していたがごみ箱に捨ててしまう行動があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人のコミュニケーションとして、ただ支援員とのやりとりを楽しんでいただけかもしれない。
- ・本人がゆっくり選択できる配慮が必要だった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑦ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-56. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

重度の自閉症、知的障害てんかんをもっている A さん。昼夜逆転していて、ほぼ日中は寝て過ごしているため昼食が摂れていない。家庭からは無理に食べさせなくてよいとのことだが、なるべく起きて頂き昼夜逆転しないよう支援をしている。言語はない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・絵カード等の視覚的情報を用いて試みたがストレスを与えてしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-57. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -⑥ -⑦**

施設旅行当日の朝、女性のKさんがバスに乗る事を嫌がった為、保護者からキャンセルしますとの話があった。保護者とバトンタッチし、職員がKさんを連れてバスに乗れるよう5分ほど気分転換をして再度バスの乗り口に来て一緒に階段を上がろうとしたが、やはり地面にしゃがみ込み拒否をするような行動が見られた。Kさんの両脇を職員が抱えてバスの階段を上がろうとしたところで、保護者から「今日は帰ります、無理をして乗せると次からバスに乗らなくなってしまうので」とお話があり、旅行に行かず施設での活動をすることにした。結果的にKさんは、一日施設での活動を楽しむ事ができた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Kさん本人の意思を十分確認していない。
- ・Kさんがバスが苦手という事について、以前にも同じようなことがあったが対策をしていなかった。
- ・本人が乗りやすい状況を作っていないかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -① -② -③ -⑤ -⑦ -⑧ ⑨ ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-58. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ ⑨ -⑥**

お昼休みに散歩に行きたいと話があったが、職員の人数が少なく体制が取りにくかった為、次回行きましようとお話して、施設内で過ごしていただいた。その後、その方から散歩に行きたいという話がなくなっている。行きたいと希望してもかなわないと思ってしまったのかと思う事がある

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員体制が取りにくかったが、事務の方や他の班の方に相談する事ができたのではと思われる。
- また、体制が取れる時に職員から散歩に行くか聞いて、別の日に行く事ができたのではと思われる。

事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -④ -⑤ -⑥ -⑧ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-59. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑤**

言葉による表出はなく、問いかけに対してはうなずきで反応するBさん。OKな時は「ウン」と首をたてに振っている。「作業しませんか？」という問いかけに「ウン」と反応してはくれたが、実際作業をセットしてみると手でカゴを押し返している。支援者側の聞き方で「○○しませんか？」は本人には「しません」と、とらえたのか、反応して「ウン」と言ってしまっただけか？結果、作業に取り組むことはできていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・「ウン」と言ってOKの時も多くあり、その反応に頼りすぎている部分が多かった。
- ・非言語の部分（表情やしぐさ等）もくみ取るべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑤

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-60. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -②**

Bさんは言語でのコミュニケーションが難しくトイレは全介助が必要な方。

下腹部あたりを手で叩くことがトイレのサインと支援者側は認識している。ご本人は下腹部を叩いたためトイレに誘導するが、Bさんは、ただ車いすから降りたかった様子。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 本人が選択できる形で確認できたら間違いなく要望をくみとれたのではないか。
- ・ トイレのサイン＝下腹部を叩く。支援者側で自動思考になってしまい他の欲求の可能性を探る事ができなかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -① -②

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-61. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④ -③ -⑦**

Mさんは作業をあらかじめ職員の方で用意しておいて欲しいとの要望があったため、職員の方で作業を準備し、提供してきたが、作業に対する拒否が多く、取り組むことが出来なかった。準備しておくことを止め、「作業に取り組める時は職員の方に伝えて下さい」と声掛けのみの対応をとったところ本人からの訴えが全くなくなってしまい、作業に取り組むことが出来なくなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 本人が自分から伝えることが苦手だったことを考慮出来なかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-62. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑧**

Aさんは持参する荷物が多くなってしまおう方で、いつも持参するバックの他に荷物が1つ増えていた。本人に確認したところ、昨日、寒かったため職員から「着替えを持ってきてください」と話があったから持参したとのことであったが、天候や気温に関係なく、上着を2枚、バックに入れて持ってきてしまった。

Aさんはそれ以降「バックを2個にしても良いか」と毎日聞いてくるようになってしまった。

本人の意思決定を考え、「大丈夫」であることを伝えたところ必要以上に私物を持ってくるようになってしまい、荷物が過剰に増えてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ Aさんの持参したいという意思を尊重してしまうと荷物が増えてしまう。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-63. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① ⑨ -⑦ -④**

利用者Mさん（女性、ダウン症）は、朝、事業所にいらした時や着替えをした後、帰る時など、次の行動に移る時に床に座り込んでしまうことが多くみられる。その際、見通しを持って頂くためにその日の予定を次々に伝えてしまい、次の行動に移るのに更に時間がかかってしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・見通しを持ってもらうのは大切だが、短い言葉や絵カードで次の目的のみ伝えるようにすれば、よりご本人に分りやすかったと思われる。
- ・「早く次の行動に移ってもらおう」という支援者側のあせる気持ちが伝わり、ご本人が自主的に動く機会を阻害してしまったかもしれない。
- ・支援者側の都合（カリキュラム優先）よりも、ご本人の自主的な行動を「待つ」体制が必要である。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -④ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-64. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ -④ -⑥ -①**

定期的に行われる利用者の自治会では、活動や行事等の話し合いがなされる。その際、自分の気持ちを表現することが難しい利用者よりも、自分の気持ちを表現できる利用者の希望が優先される傾向が強い。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・集団においての意思決定では、その場で話し合いの内容を理解して意思表示ができる利用者の意見に引きずられてしまう。つまりご本人の意思よりも他の利用者という周囲の人の都合が優先されてしまう状況が見られる。
- ・集団内での話し合いで意思表示が困難な方に対しては、事前に個別に意見を伺う配慮が必要である。
- ・利用者一人ひとりに合わせたコミュニケーションをとるためのスキルアップが必要である。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-65. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑩**

窓が開いていると必ず閉めるという拘りがある為、出来る限り、環境面の準備ということで、本利用者が過ごす場所を中心に窓を閉めるということを徹底していたが、ある日を境に今まで拘ることがなかった隣の活動室の窓まで拘りが見られるようになった。事業形態が異なる活動室もあって、最低限の協力は得られたものの、常に閉めているというまでには至らず、本利用者自身も常に気にしている様子が窺え、開いていると閉めるの繰り返しであった。活動中であっても不意に確認しに行くなど、その回数は徐々に増え、最終的には隣の活動室の廊下にて過ごす時間が長くなってしまふ。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・拘りへの尊重が出来なかった。
- ・環境面への配慮。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-66. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -②**

Bさんは指示をされるまで待つタイプの方です。他のスタッフから食べ物はきちんと選ぶ事が出来ると聞いていました。調理実習の材料の買い物に出掛けて材料代が残ったのでアイスを買って食べる事にしました。アイスコーナーに行き好きなアイスを取ってと声掛けして手をアイスコーナーまで誘導したらアイスを取ったので購入し介助で口にアイスを運び顔をピッとあっちを向いてしまい口も開こうとしませんでした。スタッフが選んだアイスを介助で口に近づけるとパクリと食べました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・手に取ったから選んだものではない。
- ・とったアイスが自分の思っていたアイスと違っていた。

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

日中活動系

**B-67. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ -⑤ ⑨**

Nさん（自閉症） トイレでのペーパー使用が多量で詰まらせてしまうなどのトラブルがあった。指示である程度伝わるものの、欲求が強い時には欲求の行動を強行してしまっていた。時間でのトイレ誘導と、その際にペーパーを取るツールを使用し、毎日どの職員が対応するかという写真を見て貰い、定時に自分で職員に伝え、ペーパーを取っていくという流れで支援を行った。

最初はスムーズに行えたものの、準備されたペーパーを使用しなければならないという方に目的が移ってしまい、トイレが頻回となり、トイレ以外のリズムも崩れてしまった為、ツールや対応を取りやめる事となった

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の為とツールを考えたが、本人の意思を考慮していなかった。
- ・定時での誘導は日課の押しつけになってしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -⑤ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】B 就労B型・就労移行等(就労系)

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-68. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -④ -⑧ ⑨**

菓子班にて、Aさんはお菓子の袋入れを行っていた。数が多くシーラー作業を早く済ませ次に急ぎの菓子の仕込みを開始したかった、という職員の考えがあった。また、このような状況のなかタイミングが良いのか悪いのか、シーラーを得意とするBさんがシーラー作業を希望してきた。Aさんには確認をせずにBさんにシーラー作業をお願いしたところ、Aさんは苦情は言わなかったが、明らかに表情が怒ったようであった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・作業の状況（流れ）や急ぎで製造しなければならないものがあることをお伝えしたうえで、Bさんにシーラー作業をお願いする前にAさんに確認を取るべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -④ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-69. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨ -⑥**

食品製造部門でパン作りの作業を行っているAさん（女性）から「こんなパンを作ってみたい」「このパンに〇〇を入れたらおいしくなるかも」との提案があった。本人からの案に対し、自分は「今度作ってみよう」とお伝えしたものの、日頃のパンの注文分を製造することに追われ、本人からのアイデアをなかなか実現させてあげることができないでいる状況。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・注文分の品を製造することで、いっぱいになってしまっている。
- ・「今度」という言葉を使用し、曖昧にしている。

事業所判断ポイントカテゴリ -③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-70. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -④ -⑥ -⑧**

主にA作業をしていたが、作業内容が変わり本人の苦手な作業が入ってきたため、「A作業は苦手なので、Bの作業をやってみたい」。との意向あり。そのため、本人の意向を尊重しB作業を提供し取り組んでもらったが、B作業も本人に合わなかったのか一人で悩んだ結果「B作業も嫌だ。A作業で我慢する。」との訴えがあり、渋々A作業に戻ってきた。その後、何も働きかけもせず今まで通りの作業を行ってもらった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・生産活動の内容が限られていて、本人の希望する取り組みたい作業を提供できていない。
- ・本人は苦手な作業はしたくないと悩んだり、どうすればよいのか分からない様子であったため、もう少し本人の気持ちを引き出せればよかったと思う。

事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -④ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-71. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑧ ⑨ -⑦**

生産活動では本人の意思を尊重し、取り組みたい作業を提供しているが、Bさんの場合、本人の希望した作業を提供しても、集中が必要な作業環境になると短期間で手が痛い等の不調を訴え定着せず、本人の意向を聞きながら頻繁に取り組む作業内容を変えざるを得ない状況にある。そのため、本人の能力を伸ばすことができず、作業能率の低下が目立っている。ある程度の目標を立てたり、励ましたりして持続できるように声かけをしたりしているが、本人にとってどのような支援が良いのか悩んでいる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意向・意思を尊重して生産活動をしているが、楽な作業内容を求めるなど、甘えを助長させるような意思を尊重した支援になってしまっていないか、判断が難しい。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-72. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑧ ⑨**

知的障害 女性 Bさん

台風対策で、電車が停まってしまう恐れがあった為、電車利用の利用者は、いつもより早めの電車で帰るように話をした。Bさんに台風で電車が停まってしまうかも知れないことを伝え、いつもより早めの電車で帰よう促すが、嫌がって職員の足に噛みついてしまった。

落ちついてから話を良く聞くとBさんは「いつもの電車で帰りたかった」と話があった。

Bさんの話にもっと耳を傾けながら、帰宅の説明をすれば他害行為に繋がらなかったと思った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・台風の対策を優先して本人の話を聞けなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-73. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

Tさんは時折アシスタントや自宅でも母と映画を鑑賞するため、出かけているが本人の観たい映画ではなく、母の希望する映画を観ていると話をすることがある。(本人は〇〇を観たかったが母は△△を観たいので、△△を観た等)

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Tさんと母間でのやり取り（意思疎通）がうまくいっていないのかもしれない。
- ・家族間でのやりとりで、職員が介入しにくい。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ -⑧ -⑨**



【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

**B-74. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨**

思い込みやこだわりから苦手な食べ物が多いAさん。おやつに出たクッキーは食べれないとの事で、ビスケットに変えて欲しいとお話があった。クッキーとビスケットは同じ材料で呼び名が違うだけなので召し上がってみて下さいとお伝えしたところ「美味しい」と残さず食べられた。苦手な物が少ない方がご本人も楽しいのではないかと考慮しての支援だったが、翌日の連絡帳に「クッキーとビスケットが同じでも本人はビスケットが良いのです」との記載があり、ご家庭の協力を得るのは難しいと感じた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人のクッキーが苦手という意思をキャッチした上での支援だったが、保護者の希望が強い。
- ・クッキーを食べるまでの過程よりも、結果を重視してしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

**B-75. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -④ -⑧**

自分に合った福祉事業所に通いたいとAさんから相談があった。相談を重ねB事業所への見学を行った。しかし、それっきりAさんからの相談が途絶えてしまった。またAさんがB事業所を利用されることもなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に時間をかけて意思疎通ができる関係性を構築することが必要だった。
- ・事前に本人が見通しが持てる説明が不十分だった。
- ・本人が比較検討する選択肢の提供が出来ていなかった。
- ・見学後に本人から感想を聞く時間を作って気持ちを確認する時間を作るべきだった。

事業所判断ポイントカテゴリー -③ -④ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

就 労 系

**B-76. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧ ⑨**

今まで、本人の希望する職種で短期間で離職を繰り返し体調を崩したことから、主治医に就労について相談し、主治医からも本人の特性に合った職種を考える様アドバイスがあった。主治医のアドバイスを受け本人が安定して働ける職種の提案をしたが、希望する求人の応募へ向けて、資格取得の勉強を始める等目標を持って取り組んだ。

本人が希望する職種で働くための支援ではなく、本人が失敗を繰り返さないための支援になってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が障がい特性を十分に理解できる支援をする必要があった。
- ・本人の希望や目標を確認する関わりが不十分だった。
- ・本人が他の職種を検討できるような情報の提供や環境を作る必要があった。

事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-77. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑦ ⑨**

基本的な意思疎通はほぼ可能な女子利用者。今年度より新しい作業を取り入れ、参加の有無をその都度確認してきたが表情や様子から気乗りしない様子が見られていた。その為、保護者へ新しい作業に参加した日の自宅での本人の様子を確認したところ「不安な様子見られていない」との返答があったため、少ない頻度での参加を促していくこととし、新しい作業へ参加して頂いていた。3か月程経過したところで再度、気持ちを確認したところ「やりたくない」との返答が聞かれた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・本人の本当の思いを汲み取る際にもっと時間をかけて確認する必要がある。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

就 労 系

**B-78. 委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

Bさんは、長年一般就労をしていたが、東日本大震災、原発事故により、会津地方で仮設生活を送っていた。地元に戻り、今年1月から本事業所の利用を始めた。内職作業を行っているが、仕事の経験もあることから、仕事を覚えるのが早く、今では複数の仕事をこなしている。しかしながら、施設や仕事にも慣れたことで、利用者への言葉遣いや仕事の内容に対する好き嫌いが多くなり、トラブルも発生している。要望・要求も多く、Bさんには、本事業所を通過点として、次のことを目指して取り組んではと、話をするが、今のところBさんは難しいとのこと。引き続き、Bさんに寄り添いながら、Bさんの意思を尊重した支援を焦らずに行っていきたい。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・Bさんは、一般就労の経験がある方なので、早く次のステージで活躍してという思いが強かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 B 児童入所・放デイ等（児童系）

【本人の意思決定支援が困難だった実例失敗実例】

児 童 系

**B-79. 委員会考慮ポイントカテゴリー -①**

・3歳の自閉症の男の子。食事の時に、のりたま、ゆかり、ごましおの3種類を準備し、写真カードの選択ボードを利用する。写真カードで選択するが、実際に選んだものをかけようとする「違う」と言い、現物を見て選択すると別なものを選ぶことがあった。写真カードの写真は、3種類それぞれの袋のパッケージだったため、写真カードと現物とで一致していなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が理解できるものは現物だったため、現物でカード作成すれば良かった。
- ・生活の中で本人の見え方を確認し、本人が理解できるものを把握すべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリー -①

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-80. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑤ -①**

・Aさんは日中課外学習の活動に参加していたが、ある日その活動に切り替えられず、移動できずにいたため、職員は先に課題部屋に移動し待っていることにした。他の利用者さんもいたため、いつも通りタイマーをかけて活動を開始するが、Aさんは来なかった。時間は進み、やがて課題終了となってしまう。片づけを始めたときにAさんが「来たよ！」課題部屋に移動してきたが、もう終了となっていたため、「もう終わったよ」と声をかけて次の活動を促す

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・切り替えに時間がかかったとはいえ、作業部屋へ移動できた事を褒め、認める言葉かけをすべきだった。また、課題学習に参加した成功体験を重ねるために1つでも課題を提供すべきであった。
- ・切り替えが苦手な方のため、事前に日中のスケジュールを提示する必要がある。

事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-81. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -② ⑨**

男性利用者のHさんは発語が無く穏やかで従順な性格である。他利用者さんが落ち着かないこともあり、週末の間は別のユニットにて過ごすことがあった。また、余暇が少なく手持無沙汰な様子も見られている。そのような状態が続いたある日、居室にて過ごしている時間帯に衣類破きがあった。毎日の様に続いたため、衣類を職員管理として、その都度提供していたが最終的には着用している衣類まで破くようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・衣類破きの対処が優先になってしまい、原因を探ることができなかった。
- ・普段の生活で手持無沙汰を少しでもなくすために余暇の幅を広げることが出来なかった。
- ・発語がないため、表情や行動でストレスや異変を察知することができなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -④ -②

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-82. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑥ ⑨**

施設に入所して既に18年になるAさん自閉傾向が強く、イライラがピークに達すると他害行為に及んでしまうことがあり、本人の他害が多い時期やどんな時に行為に及ぶのかをアセスメントを取って職員間での情報共有、また突発的な行為を避ける為にパーテーションを設置するなどの環境を工夫して支援してきた。他害行為は未然に防ぐことが出来ているが、他害そのものが無くなることなく現在も把握の徹底を続けている状態である。本人が一番やりたい事としてはネットを使って好きな動画を見ることであるが、当施設ではネット環境はなく帰宅時のみとなっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・イライラしている時に本人からの訴えが無くストレスが溜まっていた。
- ・ストレスが溜まらないように本人の要求を叶えられるように環境設定を整える。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-83. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

Hさん。DVDがみたいと伝えるも他利用者の事情でみる事ができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他利用者は、体調面から刺激のあるものを避けてほしいとの要望があり、テレビやDVD視聴ができない。他利用者の体調面を考慮した。
- ・限られた空間であった。
- ・他利用者もDVDを視聴したい思いが感じられたため、HさんだけにDVDを視聴させることは適切ではないと判断した。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-84. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨**

Cさん。玩具で遊ぼうとしたが、他利用者が使用していたため遊べなかった。順番に使用するよう伝え待っているうちに帰宅時間になってしまい、その日は遊びたい玩具で遊べなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・玩具の数に限りがあった。
- ・他の玩具を勧めたが取り組めなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-85. 委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -② -⑦ ⑨**

トランポリンは人気で3人の男女児童がいっぺんに上がり跳び始める。横になり楽しむ児童もおり危険が伴うので、順番決めをスタッフから提案。すると、お喋り上手なAさんが即、「1番Bさん、2番僕、3番Cさんね」と発言したのを受け、「じゃあ、Aさん、どうぞ」とスタッフが1分タイマーを掛ける。Cさんはなかなか上から降りずにいるが、周囲の声掛けで仕方なさそうに降り、自分の番になっても跳ばず、「いい」と離れて行った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・言語での発信が出来る Aさんの意見を時間短縮出来たこともあり優先し、全員の納得は得られなかった。

・Cさんは、トランポリン上で皆と一緒にわいわい出来るのを求めている節があるが、順番が1番最後で不満だったのではないか。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑥ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-86. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③ -⑥ ⑨**

課題を個室でいつも実施している中学生男子のDさんだが、その日は学校の活動で疲れたのか、登園直後から気分が乗らずに遊具室に座り、「ここ」とのジャスチャーを見せ、ここで過ごしたい意思が見られた。しかし、他児の課題で遊戯室は使用する等でだめですと話すが、動こうとしない。いつもの個室で休んでもらえればと誘うも、遊戯室の「ここにいたい」と繰り返すが、引っ張り移動してもらう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・Dさんの課題を少なくし、その後には好きな玩具を出す、やることをやったら遊戯室に行ける等の、いつもは乗りそうな声かけも、通じなかった。

・Dさんが他児にちょっかいや邪魔をする予測があったので、強制的に移動。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-87. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑦ ⑨**

＜登園の場面で＞ Cさん(男児・学童)

母親送迎の車の中で寝てしまい、事業所の駐車場で起こされて眠気が残ったまま愚図りながら玄関に来る。母親やスタッフに促されても頑なに「嫌だ」と言って登園を拒否するが、母親もこの後すぐに用事があるとの事で急いでおり、本児の気持ちの切り替えが十分出来ないまま分離してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・本人は登園したくないと言葉で意思表示していた。

・本人の気持ちを十分に聞いたり、待たたりする時間が確保されなかった。

・登園して欲しいという保護者とスタッフの都合が優先されてしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-88. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑤ ⑨**

＜登園の場面で＞ Dさん(男児・学童)

いつもスタッフの迎え(徒歩)で学校から直接登園しているDさん。その日はスタッフを見つけても挨拶をせず、手をつなぐ事も振り払って拒否する事が多かった。安全に登園した後にスタッフから理由を尋ねられると、上手くは表現出来ないものの「一人で事業所に行きたかった」との内容を話す。進級して出来る事が増えた自信の表れや他児の目を気にしていたと理解出来るが、信号を守って道路を横断する事などにまだ不安があり、保護者とも協議したが容認出来ないでいる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちは理解出来たが、それにはまだ対応出来ない。
- ・登園の時間などの都合もあり、他児が少なくなってから下校するなども難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑤ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-89. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑧**

Aさん(重度知的障がい、自閉症)

要求が通らないことで自傷・他害・破損行為に発展してしまうこともあり、余暇の提供や日課の時間等、本人の意思を尊重して可能な範囲で要求に応えるようにしてきた。しかし、職員によって対応が異なったり、周囲の賑やかさや相手から拒否されたことで嫌悪感を感じる等、情報や刺激が増えたことで本人の中で混乱やストレスに繋がり、自傷・他害行為が見られ、他の利用者の生活にも弊害が生じてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他害行為や自傷行為に発展することを恐れ、要求に応える支援を選択した。
- ・否定的な言動(ダメと言ったり、拒否をする等)が興奮へのスイッチとなるため、要求に応えるべきか否かの判断が難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-90. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ ⑨**

Bさんは睡眠リズムが乱れており、夜間に覚醒すると、大声で独語を話したり、他の方を無理矢理着替えさせたりすることがあり、ご家族・医師に相談しながら服薬調整を行ってきた。ご家族より就床時間を遅らせるため、就床前に余暇提供の提案があり、紙ちぎりや、興味を示しそうな玩具を提供してみた。しかし紙ちぎりは本人の負担となり、玩具には一切興味を示さず、睡眠リズムも乱れたままである。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人に確認する前に、ご家族の意思を尊重してしまった。
- ・支援方法、活動内容、服薬調整を行ってきたが、どれもうまくいかなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-91. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑥**

知的障害のある女子児童Aさん。散歩に出掛ける為に女子児童Bさんと手を繋ぐよう話をするが、Aさんが真ん中で指導員と女子児童Bさんに挟まれて手を繋いで歩きたいと話す。Bさんは指導員だけと手を繋ぎたいとの事で意見が一致せず納得しないまま散歩に出掛けてしまった。事業所近くの川沿いの遊歩道に降りて行くとAさんが手を離して走り出し、興味のある物に対して一人で先に行ってしまう、指導員がBさんの手を離せない為に適切な状況判断が行う事が出来なかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・散歩の前にホワイトボードや絵などを使用し、やってはいけない事などを提示しなかった。(一度自由な行動をするとなかなか止められない。)
- ・今後家庭ではどのようにしているか、高学年になってくるので「常に手を繋ぐのか。」「ある程度は本人に任せるのか。」などどのような方針で意見かを確認する必要がある。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-92. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑦ ⑨**

長期休みの利用の際に朝の送迎時に本人、母親、職員でスケジュール確認。本人は納得し、予定であった図書館に行く事を了承。朝の会の際にも本日のスケジュールを全員で確認。午後になり、他の利用児童が次々と出掛ける準備を始めるとパニックになり、不安感が強くなり落ち着かなくなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・口頭だけでなく本人に1番伝わりやすい、視覚を使った提示が本人には提示しておけば良かった。
- ・パニック時に的確なソフト、ハード面を使用した環境の対応が出来ていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-93. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑧**

ジュースを選ぶ際、指をさしたり同意を得るような形で希望を聞いていたが、自分で選ぶことが出来ず最終的に泣いてしまった。言葉があまり出ないため、泣いた理由を汲み取る事も難しかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・言葉で伝えてくることがあまりないので、意思の確認が難しかった。
- ・「飲みたいジュースがなかったのか」、「幾つかの中から選べずに困ってしまったのか」、「同意を得るような聞き取り方が嫌だったのか」など考察し、泣いてしまったという結果から、本児の意思形成・表出のサポートが上手く行かなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-94. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④**

登校時に学校（高等部）へ行きたくないという児童。高等部は本児の希望で進学しているが、環境の変化や見通しの持てないことへの不安、日常生活の中で意欲を削ぐような物事があり（持ち物や天気への拘り）、学校へ行きたくないという気持ちになってしまう。気持ちを切り替える声かけや安心グッズを用意したりして登校を促している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・その日の本人の精神状態や疲労度、不安材料などを考慮してアプローチしているが行動が速やかでないことが多い。
- ・高等部に通うということが本児の意思であるとして対応しているが、「行きたくない」と言うため意思の尊重としては対応に困ってします。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-95. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③ -⑤ -⑧**

スタッフが用意した課題を「いやだ」と拒否するRさん。

言葉で意思を確認するが言葉が不明瞭で理解が難しく、いくつか他の教材を提示するもすべて首を振り拒否する。その後、本児は他児が行っていた課題を勝手に取りそれに取り組む。取られた他児とのトラブルにはならなかったが、意思を汲み取ることが出来なかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人からの意思の表出があったがどうしたいのか読み取りが困難であった。
- ・言葉以外での意思表出の支援が出来ていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -① -④**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-96. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑧**

集団指導への登園の際、祖母や母との分離が出来ず泣いて登園を嫌がることのあるTさん。

切り替えが図れ、入室できてからの活動に乗れない事もある。スケジュール提示により勉強に取り組む事はできるがその後のグループ活動には入れない事も多く、スタッフと個別に過ごす状況が続いている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・特性から、やりたい活動の意思確認が難しい。
- ・本人が納得して登園できるまで待つ事が保護者、スタッフ共に出来ていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑦ ⑨**



【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-97. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑤ -⑧**

・T さん着ていた服が気に入らないと何回も着替えを行い脱いだ服を衣類ケースにまた戻してしまうことがあった。また、便失禁して汚れた服なども衣類ケースやベッドの下に隠してしまうこともあった。そのため、洗濯カゴを部屋に置き、汚れた衣類や着替えを入れるよう本人に話をした。カゴを設置してから数日間は衣類をカゴの中に入れることができていたが、1 週間ほど経つとまたベッド下や衣類ケースの中に衣類を隠してしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・「汚れた衣類を入れるカゴ」と分かるよう、絵カードを貼ったりする支援をしなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

児 童 系

**B-98. 委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑧ ⑨**

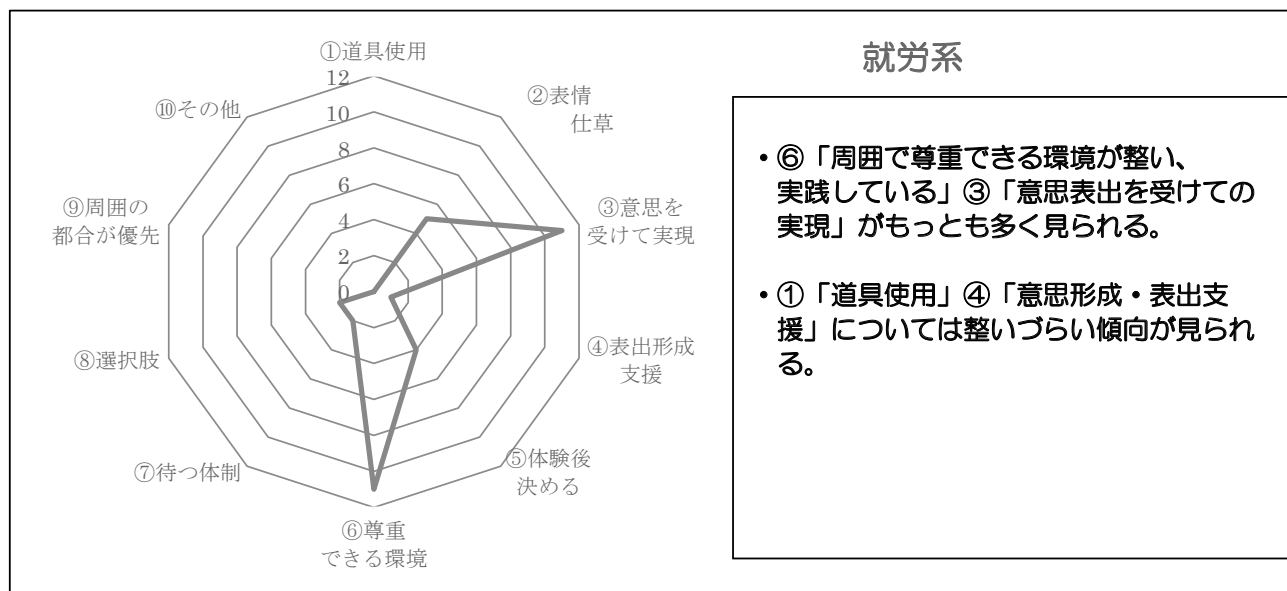
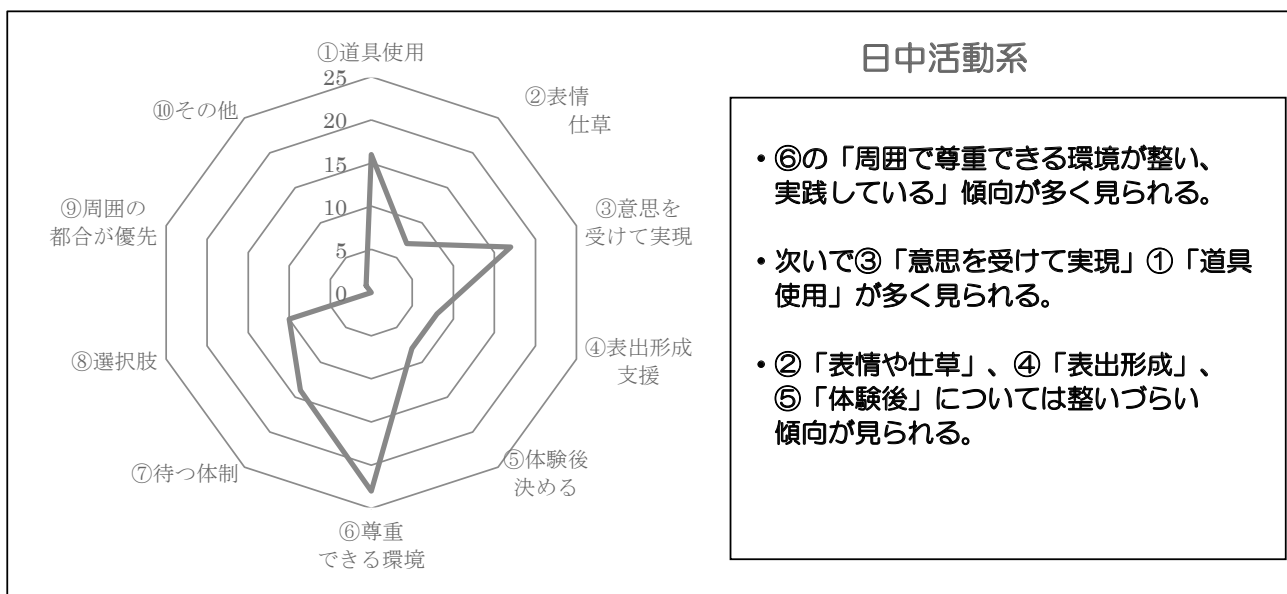
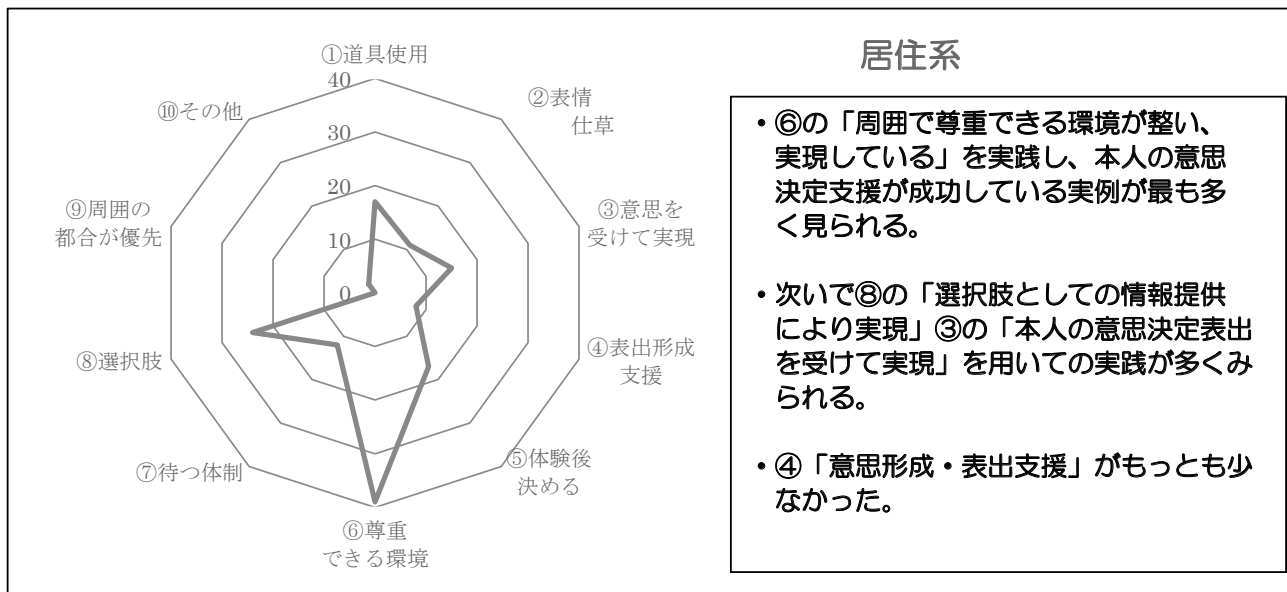
・男子利用者の R さんが、入浴を拒否しているときに入浴の時間がなくなってしまうと急かしてしまった。R さんは嫌な思いをしたせいか、夕食を食べないと拒んでしまった。後から聴くと、いつも午前中に入浴しているのにその日は午後から入浴した事が嫌だったようだ。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

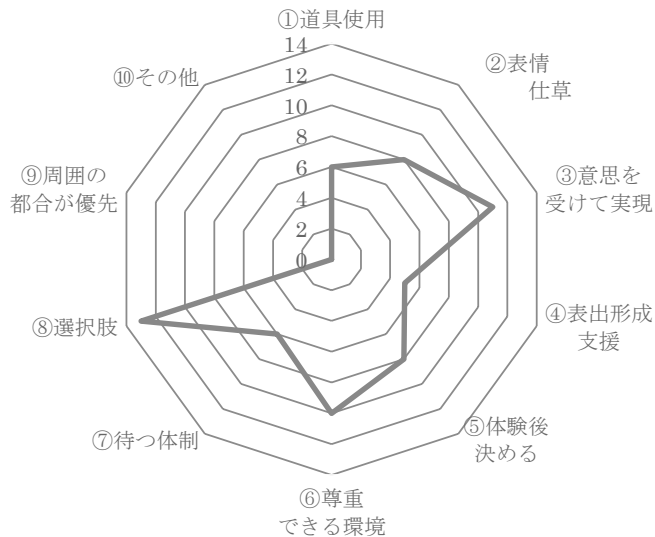
・職員の都合で拒否している理由を聞かず適切な支援ができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑦ ⑨**

# 平成30年度 カテゴリー分類図（成功事例4系全体）

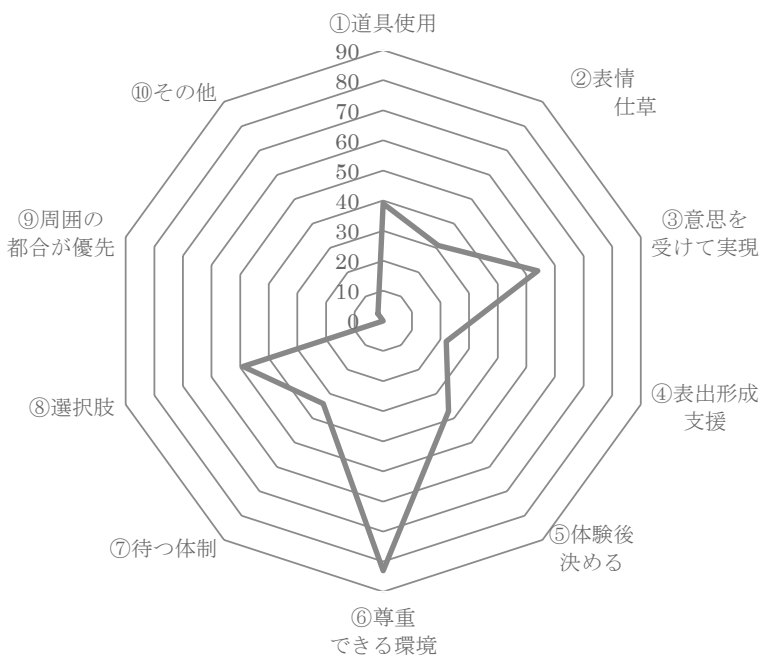


## 児童系



- ⑧「選択肢としての情報提供」が多く見られる。
- 次いで③「意思表出を受けての実現」⑥「周囲で尊重できる環境が整い、実践している」が多く見られる。
- ④「意思形成・表出支援」がもっとも少なかった。

成功事例 全体のカテゴリー分類図



系統別カテゴリー数

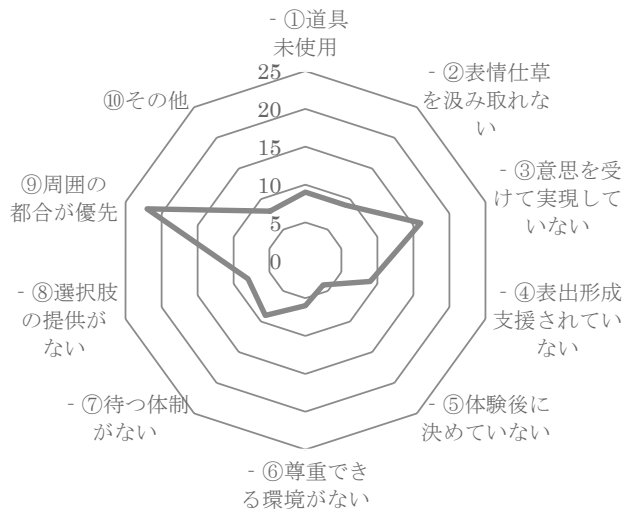
カテゴリー	居住系	日中活動系	就労系	児童系	全体
①	17	16	0	6	39
②	11	7	5	8	31
③	15	17	11	11	54
④	8	8	1	5	22
⑤	17	8	4	8	37
⑥	39	23	11	10	83
⑦	12	14	2	6	34
⑧	24	10	2	13	49
⑨	0	0	0	0	0
⑩	2	1	0	0	3

## 【全体の傾向】

- ⑥の「意思決定を周囲で尊重できる環境があり、実現」が最も多く実践されていた。
- 次いで③「意思の表出を受けて、実現」⑧「選択肢」が多く見られた。
- ④「意思形成・表出支援」については、少なかった。
- 例年の結果同様、⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された。」は、0であった。これにより人権侵害があつての成功事例は無かった。したがって本人主体の意思決定支援がなされている所に人権侵害つまり虐待はないという実例の結果であった。

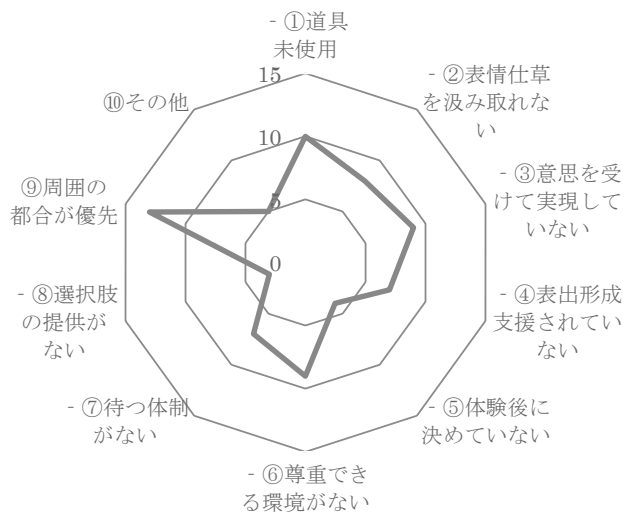
# 平成30年度 カテゴリー分類図（失敗事例4系全体）

## 居住系



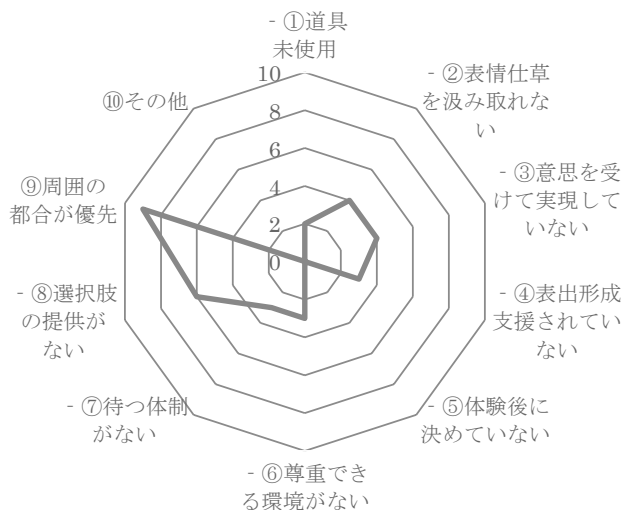
- ⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された」が最も多く見られる。
- 次の③「本人の意思を受けて実現していない」が多く見られる。
- ⑤の「体験後に決めていない」は少なかった。

## 日中活動系



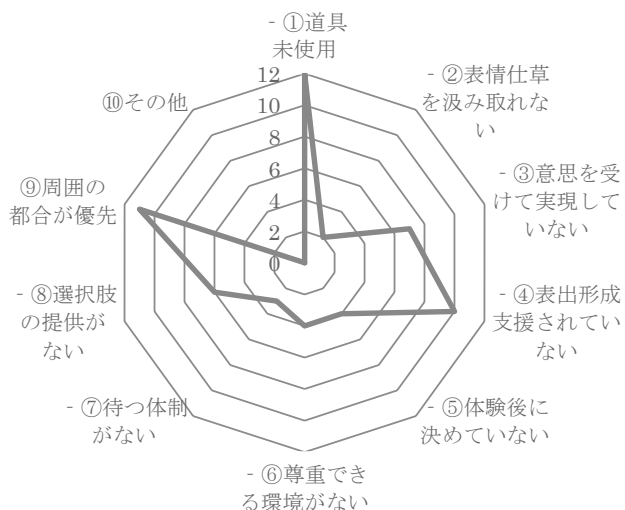
- ⑨「周囲の都合が優先」がもっとも多く見られる。
- 次の①「道具未使用」が多く見られる。
- ⑧の「選択肢の提供がない」がもっとも少なかった。

## 就労系



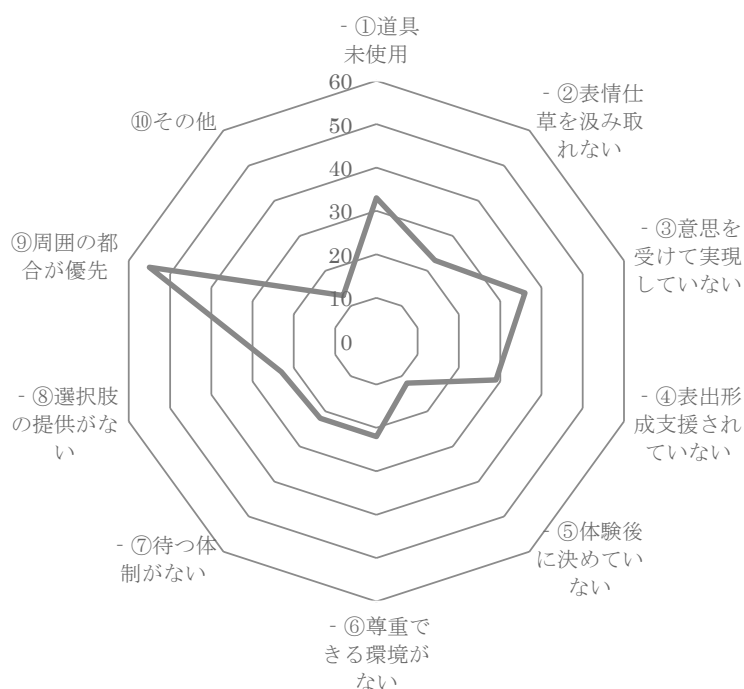
- ⑨「周囲の都合が優先」がもっとも多く見られる。
- 次の⑧の「選択肢の提供がない」が多くみられた。
- ⑤の「体験後に決めていない」は少なかった。

## 児童系



- -①「道具未使用」がもっとも多く見られる。
- 次いで⑨「周囲の都合が優先」-④「意思形成・表出支援がされていない」が多く見られる。
- -②「表情や仕草」については少なかった。

失敗事例 全体のカテゴリー分類図



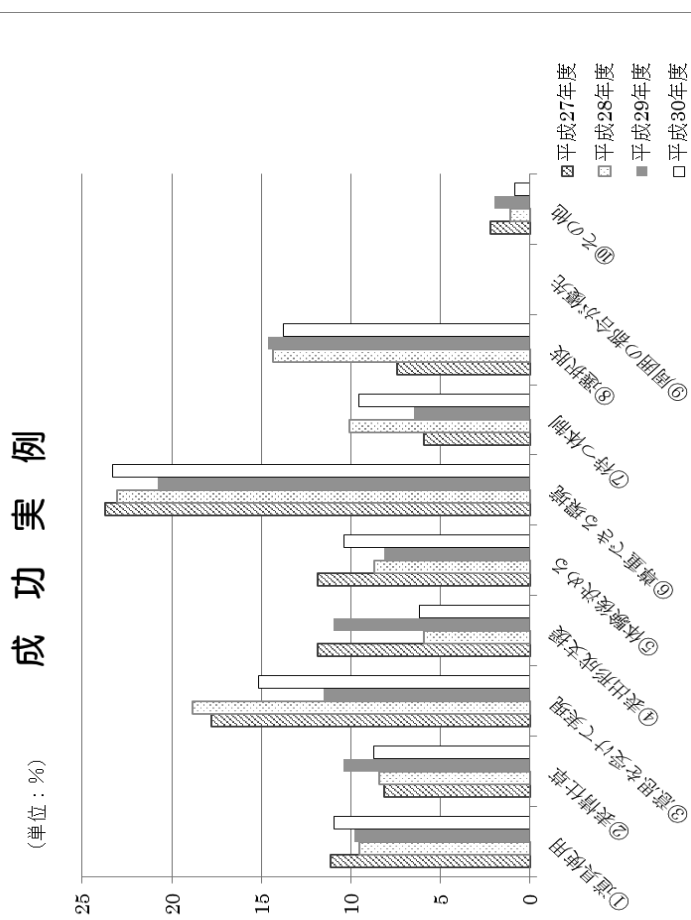
系統別カテゴリー数

カテゴリー	居住系	日中活動系	就労系	児童系	全体
-①	9	10	2	12	33
-②	9	8	4	2	23
-③	16	9	4	7	36
-④	9	7	3	10	29
-⑤	4	4	0	4	12
-⑥	6	9	3	4	22
-⑦	9	7	3	3	22
-⑧	8	3	6	6	23
⑨	22	13	9	11	55
⑩	8	5	0	0	13

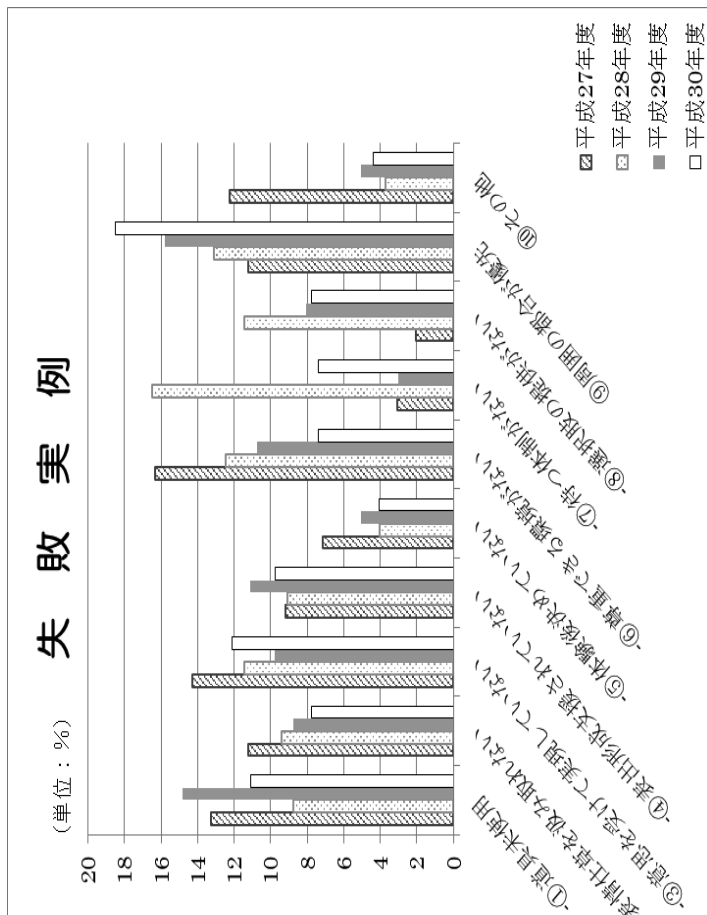
## 【全体の傾向】

- 例年の結果同様、⑨の「家族や周囲の人の都合が優先された」が最も多く見られた。
- 次いで、-③「本人の意思を受けて実現していない」、-①の「本人とのコミュニケーションをとるための道具未使用」の順で多く見られた。
- -⑤「言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない」の実践件数が最も少なく、経験や体験を実施する前の段階で周囲の都合が優先してしまい、本人の意思を受けても実現が困難な現状が見られる。

# 4年間のカテゴリー分類比較図



	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	延数	割合	延数	割合	延数	割合	延数	割合
①	15	11.11	34	9.55	35	9.83	39	10.96
②	11	8.15	30	8.43	37	10.39	31	8.71
③	24	17.78	67	18.82	41	11.52	54	15.17
④	16	11.85	21	5.90	39	10.96	22	6.18
⑤	16	11.85	31	8.71	29	8.15	37	10.39
⑥	32	23.70	82	23.03	74	20.79	83	23.31
⑦	8	5.93	36	10.11	23	6.46	34	9.55
⑧	10	7.41	51	14.33	52	14.61	49	13.76
⑨	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0
⑩	3	2.22	4	1.12	7	1.97	49	0.84



	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	延数	割合	延数	割合	延数	割合	延数	割合
-①	13	13.27	26	8.75	44	14.81	33	11.11
-②	11	11.22	28	9.43	26	8.75	23	7.74
-③	14	14.29	34	11.45	29	9.76	36	12.12
-④	9	9.18	27	9.09	33	11.11	29	9.76
-⑤	7	7.14	12	4.04	15	5.05	12	4.04
-⑥	16	16.33	37	12.46	32	10.77	22	7.41
-⑦	3	3.06	49	16.50	9	3.03	22	7.41
-⑧	12	2.04	34	11.45	24	8.08	23	7.74
-⑨	11	11.23	39	13.13	47	15.82	55	18.52
-⑩	12	12.24	11	3.70	15	5.05	13	4.38

## 人権・倫理委員による編集後記

意思決定支援事例集もVer.4となりました。各事業所さんから寄せられた事例において、改めて気づかされる支援がたくさんありました。障がいのある方々の権利を守ることはとても大切なことです。意思決定支援は特別なことではなく、当たり前前の支援であることをみなさんと一緒に広げていくことができればと思います。そして、私自身も本人の思いの実現のために、一人ひとりの思いにさらに寄り添っていければと思います。

(福島県ばんだい荘あおば  
園長 青柳 百合子)

今年度より人権・倫理委員会の委員に選出され、「意思決定支援事例集」の作成に携わらせていただきました。各事業所からいただいた成功事例、失敗事例を読ませていただきながら、ご本人から寄せられる意思是どこにあるのか、支援の在り方は等とても考えさせられる内容がたくさんありました。文章だけでは、伝えきれない支援者の思いがこめられた多くの事例を是非、各事業所内で事例検討等に活用していただき、日々の意思決定支援への取り組みに活かされることを願います。

(サポートセンターきらり  
管理者 深谷 健)

今年も人権・倫理委員会の委員として「意思決定支援事例集」作成に携わらせていただきました。今回で4年目になる事例集作成の取り組みですが、毎年新たな発見や気づきがあり、自分自身の支援を振り返るととても良い機会となっております。それは今回事例の提出にご協力していただいた会員事業所でも同様かと思えます。単に事例集を成果物とすることが目的ではなく、そこに至るまでのプロセスや気づき、チームでの価値観の共有がとても重要であり、事例集作成の目的でもあります。日頃の支援を振り返り、本人主体の意思決定支援が成されているかどうかを話し合う機会を福島県内全域で取り組まれることを願います。

(おおぞらの夢  
施設長 松原 篤史)

「意思決定支援事例集」の作成に携わらせていただき、日々利用者と向き合い意思決定支援に関わる支援者には、相手をよく知ろうとする気持ち、思いに寄り添う気持ちが大切だと改めて感じました。よく耳にする言葉ですが、意思決定支援の場面で、支援者側の思い込みや些細な変化の見逃しからの躓きも少なくないため、より意識して支援していきたいと思いました。また、数多くの事例を読ませていただき、意思決定を周囲で尊重できる環境を整えることが、より良い支援に繋がっていると感じました。

この事例集は、手に取った支援者の皆様に役立つものであると同時に、私自身、今後の意思決定支援の場面においても有効に活用していきたいと思います。

(福島県矢吹しらうめ荘  
副主任援助員 田村 恵美)

今年度から人権・倫理委員会の委員となり、委員会を通して“利用者の為支援者として何が出来るのか”そのことを考えさせられる一年でした。

その一端として、意思決定支援の重要性とともにその難しさも実感しました。

利用者の“意思”をいかに引き出すことが出来るのか、その“意思”をどのように生活の中に取り入れて実現していくのか。その中でやはり欠かせないのが“チームアプローチ”ではないでしょうか。

支援員一人では困難であっても、チームとして活動していけば、利用者の“意思”の実現に一歩一歩着実に前へ進んでいく事ができるはずで。

その為にも、今回の事例集を通して、「こんな支援方法があったのか」「うちの失敗したケースに似ているな」など意思表出支援の参考にして頂ければと思います。

(石川共生園 支援係長 瀬谷 義彦)

今回はじめて事例集の作成に携わらせていただきました。すべての事例に目を通し、利用者さんの豊かな生活のためにそれぞれの職員が試行錯誤して支援に取り組んでいることに感銘を受けました。その支援が成功でも失敗でも、利用者の思いを汲み取り、その思いを実現するためのプロセスが大事なのだと感じました。この事例集を読んで『意思決定支援』について考えるきっかけとなれば幸いです。

(はまぎく荘 生活支援員 上遠野 智江)

事例集の編成に携わらせていただく度に、ご本人が決定した意思を実現することが大前提であるという意識を持つことの難しさを感じさせられます。どうしても、支援の場面では、結果を考えてしまいます。そのため、「こうした方がいいのに…」「それはやらない方がいい」という思いから、ともすれば意思に反する助言や支援をしてしまいかねません。結果はさておき、妥当ではないと思われる意思を実現するための支援も必要なこともあります。ただ、人は誰しも、思いどおりに行動したい欲求がある一方、妥当な結果も追い求めていると思います。バランスが大切であり、そこにマニュアルは存在せず、それぞれ支援者のセンスなのだろうと思います。

(福島県ばんだい荘あおば 総務係長 熊田智真)

平成31年1月30日

福島県知的障害者福祉協会  
人権・倫理委員会

古川 彰彦	父の夢	施設長	(県北・郡山地区)
青柳 百合子	福島県ばんだい荘あおば	園長	(会津・県中地区)
深谷 健	サポートセンターきらり	管理者	(県南・いわき地区)
松原 篤史	おおぞらの夢	施設長	(県北・郡山地区)
田村 恵美	福島県矢吹しらうめ荘	副主任援助員	(会津・県中地区)
瀬谷 義彦	石川共生園	支援係長	(会津・県中地区)
上遠野 智江	はまぎく荘	生活支援員	(県南・いわき地区)
熊田 智真	福島県ばんだい荘あおば	総務係長	(会津・県中地区)

発行所：福島県知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会事務局  
〒960-8164 福島県福島市八木田字並柳 41-3 (父の夢内)  
TEL 024-545-8058 FAX 024-545-1128